

第2次愛媛県立病院中期経営戦略

令和3年3月 策定

令和6年3月 改定

愛媛県公営企業管理局

目 次

第 1	基本的事項	
1	県立病院の使命	1
2	中期経営戦略策定の趣旨	1
3	実施期間	1
4	中間見直し	1
第 2	県立病院の現状	
1	県立病院の所在地	2
2	職員の状況	3
3	病院別診療体制	4
4	患者数、収益、単価、損益の動向	8
第 3	病院を取り巻く環境等の変化	
1	人口の減少、高齢者の増加	12
2	各圏域別入院患者動態推移	15
3	医療圏域別・年齢階級別入院患者動態推移	17
4	医療圏域別シェアの試算	18
第 4	県立病院の機能強化について	
1	経営方針	22
2	県立病院の役割・機能	22
3	県立病院の基本的な方向性	23
4	各県立病院の目指すべき病院像	25
5	各県立病院等の具体的な取組み	26
	(1) 県立中央病院	26
	(2) 県立今治病院	31
	(3) 県立南宇和病院	35
	(4) 県立新居浜病院	38
	(5) 公営企業管理局	43
	(6) 具体的な取組みの実施計画	46
第 5	経営指標に係る数値目標	
1	経営指標	60
2	収支計画	62

第1 基本的事項

1 県立病院の使命

県立病院は、「地域の中核病院として、高度で良質な医療を安定的に供給するとともに、医療資源が質的・量的に不足する地域にあっては、これを補完することにより、県民医療の確保を図る」ことを使命とする。

2 中期経営戦略策定の趣旨

県立病院は、「県民医療の最後の砦」として、高度で良質な医療の提供に努めながら、救急医療、周産期医療、災害医療、感染症医療など採算性等の面から民間病院での実施が困難な分野の医療を担っているが、昭和58年度以降赤字経営が続き累積欠損金が100億円を超える状況となったことから、平成6年度から次のとおり5か年の経営計画を策定し、経営改善と財政健全化に取り組んできた。

- 県立病院経営改善計画（平成6年度～平成10年度）
- 県立病院財政健全化計画（平成11年度～平成15年度）
- 第2次県立病院財政健全化計画（平成16年度～平成20年度）
- 第3次県立病院財政健全化計画（平成21年度～平成25年度）
- 県立病院中期経営戦略（平成28年度～令和2年度）

この結果、平成22年度からは8年連続で黒字決算（経常利益ベース）となるなど、経営は好転したが、平成30年度には再び赤字となり、黒字回復に取り組んだ令和元年度も年度終盤に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2年連続の赤字となった。そして、県立病院中期経営戦略の最終年度である令和2年度も、新型コロナウイルスの感染拡大による患者数・医業収益の大幅な落ち込みが続いており、厳しい経営状況にある。

こうしたことから、令和2年6月に「愛媛県立病院中期経営戦略検討委員会」を設置し、病院現場の声を十分反映させるとともに、医療圏域ごとに異なる医療資源や医療需要の動向に加え、新型コロナウイルス感染症への対応等も踏まえた検討を行い、県立病院として地域に必要な医療を継続して提供するとともに、安定的な経営を確保するため「第2次県立病院中期経営戦略」を策定することとした。

3 実施期間

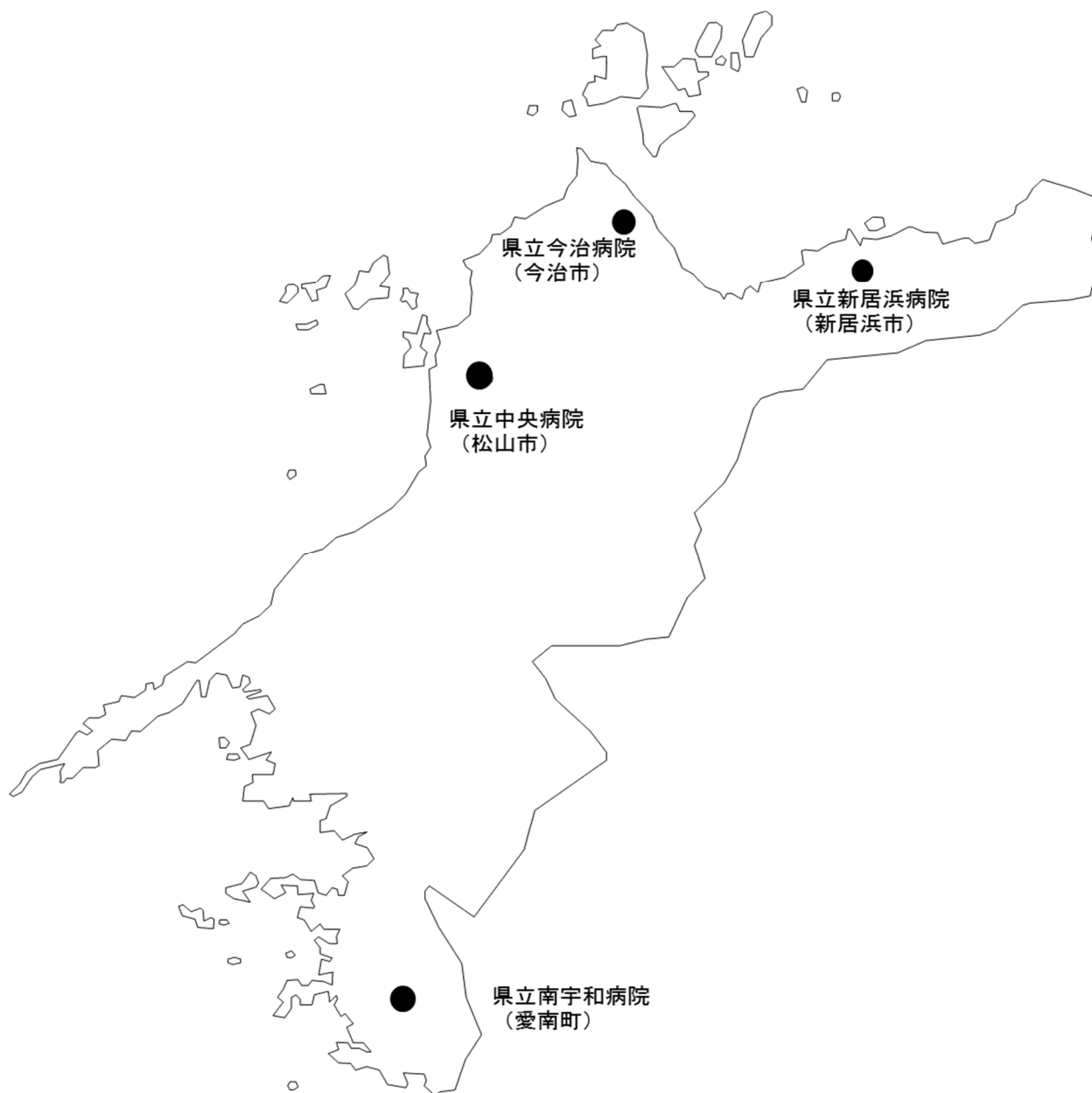
令和3年度から令和9年度までの7年間

4 中間見直し

令和4年3月に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が総務省から示されたことを受け、令和5年度に計画の見直しを行い、実施期間を令和9年度まで延長するとともに経営指標の数値目標等を追加した。

第2 県立病院の現状

1 県立病院の所在地（令和5年4月1日現在）



中 央	〒790-0024	松山市春日町 83 番地	TEL 089-947-1111 FAX 089-943-4136
今 治	〒794-0006	今治市石井町 4 丁目 5 の 5	TEL 0898-32-7111 FAX 0898-22-1398
南 宇 和	〒798-4131	南宇和郡愛南町城辺甲 2433 の 1	TEL 0895-72-1231 FAX 0895-72-5552
新 居 浜	〒792-0042	新居浜市本郷 3 丁目 1 番 1 号	TEL 0897-43-6161 FAX 0897-41-2900

2 職員の状況

令和5年4月1日現在の正規職員の状況（フルタイムで定数内の再任用職員含む）

（単位：人）

区分	中央	今治	南宇和	新居浜	計
医師	202	43	9	41	295
薬剤師	40	15	6	15	76
放射線技師	32	9	6	10	57
検査技師	36	11	6	13	66
栄養士	6	2	2	3	13
歯科技工士	0	0	0	0	0
歯科衛生士	1	0	0	0	1
理療技士	21	12	7	11	51
言語聴覚士	3	1	0	1	5
視能訓練士	4	0	0	0	4
臨床工学技士	22	3	1	4	30
臨床心理士	2	0	0	0	2
看護師	835	207	100	212	1,354
事務	29	12	9	14	64
電気	0	1	0	1	2
設備保安員	0	2	2	2	6
電話オペレータ	0	0	1	1	2
他業務員	0	0	1	1	2
計	1,233	318	150	329	2,030

2. 県立今治病院

診療体制（令和5年4月1日時点）

①	病院長	川上 秀生	所在地	今治市石井町4丁目5番号	開設年月日	S23. 6. 1	
	診療科目	内科	呼吸器内科	施設基準（日付は適用日）			
循環器内科		消化器内科	臨床研修病院入院診療加算	H24. 10. 1	ハイリスク妊産婦連携指導料1	H30. 5. 1	
血液内科		糖尿病・内分泌内科	救急医療管理加算	R 2. 4. 1	薬剤管理指導料	H22. 6. 1	
脳神経内科		心療内科	超急性期脳卒中加算	H20. 4. 1	医療機器安全管理料1	H20. 4. 1	
外科		心臓血管外科	妊産婦緊急搬送入院加算	H20. 4. 1	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 （遠隔モニタリング加算）	R 3. 5. 1	
消化器外科		整形外科	診療録管理体制加算2	H20. 4. 1	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）	H27. 5. 1	
脳神経外科		精神科	医師事務作業補助体制加算1	R 5. 4. 1	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）	R 4. 12. 1	
小児科		皮膚科	急性期看護補助体制加算25対1（看護補助者5割未満）	R 5. 1. 1	H P V 核酸検出	H26. 4. 1	
泌尿器科		産婦人科	看護職員夜間配置加算 12対1配置加算2	R 2. 4. 1	検体検査管理加算（I）	H20. 4. 1	
眼科		耳鼻咽喉科	重症者等療養環境特別加算	H28. 5. 1	検体検査管理加算（II）	H20. 6. 1	
リハビリテーション科		放射線科	放射線治療病室管理加算	R 4. 6. 1	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	H20. 4. 1	
麻酔科			栄養サポートチーム加算	R 3. 11. 1	植込型心電図検査	H22. 4. 1	
		全2科	医療安全対策加算1	H30. 4. 1	ヘッドアップティルト試験	H24. 8. 1	
			感染対策向上加算1	R 4. 4. 1	神経学的検査	R 2. 3. 1	
救急病院	S58. 4. 15		患者サポート体制充実加算	R 4. 6. 1	小児食物アレルギー負荷検査	H18. 10. 1	
	許可病床数 (床)	一般病床	270	重症患者初期支援充実加算	R 4. 7. 1	画像診断管理加算1	H14. 4. 1
		結核病床	0	ハイリスク妊娠管理加算	H21. 1. 1	画像診断管理加算2	H20. 4. 1
		感染症病床	0	ハイリスク分娩管理加算	H29. 1. 1	C T撮影及びMRI撮影	H29. 3. 1
		精神病床	50	病棟薬剤業務実施加算1	R 4. 10. 1	冠動脈C T撮影加算	H20. 4. 1
	計	320	データ提出加算2	H26. 9. 1	大腸C T加算	H24. 4. 1	
建物（㎡）	病院	22,080.41	入退院支援加算1	R 4. 10. 1	心臓MRI撮影加算	H25. 10. 1	
	職員公舎	2,070.87	認知症ケア加算2	R 2. 4. 1	小児沈静化MRI撮影加算	H30. 7. 1	
	計	24,151.28	せん妄ハイリスク患者ケア加算	R 2. 4. 1	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	H22. 4. 1	
施設	輸血管理料Ⅱ	H29. 2. 1	精神疾患診療体制加算	H28. 4. 1	外来化学療法加算1	H20. 4. 1	
	輸血適正使用加算	H29. 2. 1	地域医療体制確保加算	R 5. 1. 1	無菌製剤処理料	H20. 4. 1	
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	H24. 4. 1	ハイケアユニット入院医療管理料1	H27. 4. 1	心大血管疾患リハビリテーション料（I）	H28. 2. 1	
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	H26. 4. 1	新生児特定集中治療室管理料2	H26. 9. 1	脳血管疾患等リハビリテーション料（I）	H29. 10. 1	
	麻酔管理料（I）	R 2. 7. 1	新生児治療回復室入院医療管理料	H23. 6. 1	運動器リハビリテーション料（I）	H25. 4. 1	
			小児入院医療管理料4	H28. 5. 1	呼吸器リハビリテーション料（I）	H24. 4. 1	
			地域包括ケア病棟入院料2	R 5. 4. 1	がん患者リハビリテーション料	H29. 4. 1	
			看護職員処遇改善評価料	R 5. 4. 1	人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）	H30. 4. 1	
			外来栄養食事指導料	R 4. 7. 1	導入期加算1	R 5. 4. 1	
			心臓ペースメーカー指導管理料（遠隔モニタリング加算）	R 2. 6. 1	透析液水質確保加算及び慢性維持透析通過加算	H28. 2. 1	
基準	糖尿病合併症管理料	H22. 5. 1	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	H28. 9. 1			
	がん性疼痛緩和指導管理料	H22. 4. 1	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術	H26. 4. 1			
	糖尿病透析予防指導管理料	H24. 12. 1	経皮的冠動脈形成術	H26. 4. 1			
	乳腺炎重症化予防ケア指導料	R元. 6. 1	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	R 2. 4. 1			
	婦人科特定疾患治療管理料	R 2. 9. 1	経皮的冠動脈ステント留置術	H26. 4. 1			
	一般不妊治療管理料	R 4. 9. 1	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	H10. 4. 1			
	二次性骨折予防継続管理料1	R 4. 8. 1	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードペースメーカー）	R 5. 1. 1			
	院内トリアージ実施料	H27. 9. 1	植込型心電図記録計移植術及び埋込型心電図記録計挿出術	H22. 4. 1			
	夜間休日救急搬送医学管理料	H24. 4. 1	大動脈バルーンパンピング法	H10. 4. 1			
	救急搬送看護体制加算	R 2. 4. 1	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	H26. 4. 1			
	外来腫瘍化学療法診療料1	R 4. 6. 1	腹腔鏡下肝切除術	R 3. 5. 1			
	ニコチン依存症管理料	H29. 7. 1	腹腔鏡下膵尾部腫瘍切除術	R 3. 5. 1			
	がん治療連携指導料	H27. 12. 1	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	H28. 10. 1			
	肝炎インターフェロン治療計画料	H25. 8. 1	膀胱頸部形成術 等	R 4. 9. 1			
	その他	入院時食事療養（I）	H28. 5. 1				

3. 県立南宇和病院										
診療体制（令和5年4月1日時点）										
① 診療科 ・ 施設 ・ 設備 ・ 基準 ・ 等	病院長	村上 晃司		所在地	南宇和郡愛南町城辺甲2433番			開設年月日	S23. 6. 1	
	診療科目	内科	呼吸器内科	施設基準（日付は適用日）						
		循環器内科	消化器内科	臨床研修病院入院診療加算	H24. 10. 1	在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料			H31. 2. 1	
		糖尿病・内分泌内科	外科	救急医療管理加算	R 2. 4. 1	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料			H28. 3. 1	
		整形外科	脳神経外科	診療録管理体制加算2	H23. 8. 1	在宅患者訪問褥瘡管理指導料			H28. 3. 1	
		小児科	皮膚科	医師事務作業補助体制加算1	R 2. 12. 1	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の遠隔モニタリング加算			R 3. 3. 1	
		泌尿器科	産婦人科	急性期看護補助体制加算25対1（看護補助者5割未満）	R 2. 10. 1	HPV核酸検出			R元. 9. 1	
		眼科	耳鼻咽喉科	看護職員夜間配置加算 12対1配置加算2	R 2. 10. 1	検体検査管理加算（Ⅰ）			H20. 4. 1	
		リハビリテーション科	放射線科	重症者等療養環境特別加算	R元. 5. 1	検体検査管理加算（Ⅱ）			H20. 6. 1	
		麻酔科		栄養サポートチーム加算	R 2. 4. 1	植込型心電図検査			H22. 4. 1	
				医療安全対策加算2	H30. 11. 1	コンタクトレンズ検査料1			H28. 12. 1	
				感染対策向上加算2	R 4. 4. 1	内服・点滴誘発試験			H22. 4. 1	
			全17科	ハイリスク妊娠管理加算	H21. 1. 1	画像診断管理加算2			H20. 4. 1	
		救急病院	S47. 3. 10		後発医薬品使用体制加算3	R 5. 4. 1	CT撮影及びMRI撮影			H31. 3. 1
	許可病床数 (床)	一般病床	199	病棟薬剤業務実施加算1	H30. 7. 1	冠動脈CT撮影加算			H26. 1. 1	
		結核病床	0	データ提出加算1	H27. 1. 1	無菌製剤処置料			H20. 4. 1	
		感染症病床	0	入退院支援加算1	R 4. 10. 1	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）			H29. 3. 1	
		精神病床	0	認知症ケア加算3	R 2. 4. 1	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）			H29. 3. 1	
		計	199	地域包括ケア病棟入院料 1	R 4. 10. 1	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）			H24. 11. 1	
	建物（㎡）	病院	10,999.80	看護職員処遇改善評価料	R 4. 10. 1	がん患者リハビリテーション料			R 4. 1. 1	
職員公舎		2,776.00	糖尿病合併症管理料	H21. 7. 1	人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）			H30. 4. 1		
	計	13,775.80	がん性疼痛緩和と指導管理料	H22. 4. 1	導入期加算1			H30. 4. 1		
基準等			糖尿病透析予防指導管理料	H24. 8. 1	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算			H24. 4. 1		
			院内トリアージ実施料	H24. 4. 1	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術			H26. 4. 1		
			夜間休日救急搬送医学管理料	H24. 4. 1	経皮的冠動脈形成術			H26. 4. 1		
			救急搬送看護体制加算	H30. 4. 1	経皮的冠動脈ステント留置術			H26. 4. 1		
			外来リハビリテーション診療料	H26. 4. 1	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術			H10. 11. 1		
			ニコチン依存症管理料	H29. 7. 1	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計挿出術			H22. 4. 1		
			開放型病院共同指導料（Ⅱ）	H 6. 11. 1	大動脈バルーンパンピング法			H10. 11. 1		
			がん治療連携指導料	H26. 3. 1	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）			H26. 4. 1		
			薬剤管理指導料	H22. 4. 1	輸血管理料Ⅱ			H28. 4. 1		
			検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	H28. 9. 1	輸血適正使用加算			H24. 4. 1		
			医療機器安全管理料1	H30. 9. 1	胃瘻造設時燕下機能評価加算			H26. 4. 1		
			その他	入院時食事療養（Ⅰ）		R元. 8. 1				

4. 県立新居浜病院

診療体制（令和5年4月1日時点）

① 病院長		堀内 淳		所在地		新居浜市本郷丁目1番号		開設年月日		S28. 1.28	
診療科目	内科	呼吸器内科	施設基準（日付は適用日）								
	循環器内科	消化器内科	臨床研修病院入院診療加算	H26. 4. 1	HPV核酸検出		H26. 4. 1				
	血液内科	糖尿病・内分泌内科	救急医療管理加算	R 2. 4. 1	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出		R 4.12. 1				
	外科	呼吸器外科	超急性期脳卒中加算	H20. 4. 1	検体検査管理加算（I）		H20. 4. 1				
	心臓血管外科	消化器外科	妊産婦緊急搬送入院加算	H21. 2. 1	検体検査管理加算（II）		H30. 7. 1				
	整形外科	脳神経外科	診療録管理体制加算2	H27.12. 1	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算		H20. 4. 1				
	小児科	皮膚科	医師事務作業補助体制加算1	R 4. 4. 1	補込型心電図検査		H22. 4. 1				
	泌尿器科	産婦人科	急性期看護補助体制加算25対1（看護補助者5割以上）	R 5. 1. 1	ヘッドアップティルト試験		H24. 5. 1				
	眼科	耳鼻咽喉科	療養環境加算	H31. 1. 1	皮下連続式グルコース測定		H24.11. 1				
	リハビリテーション科	放射線科	重症者等療養環境特別加算	H28. 9. 1	長期継続頭蓋内脳波検査		H12. 4. 1				
	救急科	麻酔科	栄養サポートチーム加算	H30. 4. 1	神経学的検査		H31. 4. 1				
			医療安全対策加算1	R元. 6. 1	小児食物アレルギー負荷検査		H20. 4. 1				
			全22科	感染対策向上加算1	R 4. 4. 1	画像診断管理加算1		H31. 4. 1			
				患者サポート体制充実加算	H30. 6. 1	画像診断管理加算2		H31. 4. 1			
	救急病院	S47. 6.27	ハイリスク妊娠管理加算	H21. 2. 1	CT撮影及びMRI撮影		R 3. 9. 1				
許可病床数 (床)	一般病床	203	ハイリスク分娩管理加算	R 3.10. 1	冠動脈CT撮影加算		H20. 4. 1				
	結核病床	3	後発医薬品使用体制加算2	R 4. 4. 1	外傷全身CT加算		H22. 4. 1				
	感染症病床	2	病棟薬剤業務実施加算1	R 4.10. 1	心臓MRI撮影加算		H24. 4. 1				
	精神病床	0	データ提出加算2	H27.12. 1	小児鎮静下MRI撮影加算		R 3. 8. 1				
	計	208	入退院支援加算1	R 4.10. 1	抗悪性腫瘍剤処方管理加算		H22. 4. 1				
建物 (㎡)			認知症ケア加算2	R 4.12. 1	外来化学療法加算1		R 4. 2. 1				
	病院	19,998.14	せん妄ハイリスク患者ケア加算	R 4. 1. 1	無菌製剤処理料		H20. 4. 1				
	職員公舎	1,928.88	救命救急入院料1	R 4. 4. 1	心大血管疾患リハビリテーション料（I）		H24. 4. 1				
	計	21,927.02	新生児特定集中治療室管理料2	H26.10. 1	脳血管疾患等リハビリテーション料（II）		R 4.12. 1				
膀胱水圧拡張術	R 3. 1. 1	新生児治療回復室入院医療管理料	H27. 6. 1	運動器リハビリテーション料（I）		H28. 4. 1					
輸血管理料Ⅱ	R 3.11. 1	小児入院医療管理料4	R 5. 4. 1	呼吸器リハビリテーション料（I）		H24. 4. 1					
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	H24. 4. 1	地域包括ケア病棟入院料2	R 4.10. 1	がん患者リハビリテーション料		H26. 1. 1					
胃瘻造設時燕下機能評価加算	H26. 4. 1	看護職員処遇改善評価料	R 4.10. 1	人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）		H30. 4. 1					
麻酔管理料（I）	R 2. 4. 1	心臓ペースメーカー指導管理料（遠隔モニタリング加算）	R 5. 1. 1	導入期加算1		H30. 4. 1					
二次性骨折予防継続管理料1	R 5. 4. 1	糖尿病合併症管理料	H24. 4. 1	透析液水質確保加算及び慢性維持透析過過加算		H30. 4. 1					
二次性骨折予防継続管理料2	R 5. 4. 1	がん性疼痛緩和指導管理料	H22. 4. 1	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術		H26. 4. 1					
二次性骨折予防継続管理料3	R 5. 4. 1	がん患者指導管理料Ⅰ	R 4.10. 1	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術		H12. 4. 1					
施設基準等			がん患者指導管理料Ⅱ	R 2. 3. 1	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術		H28. 4. 1				
			糖尿病透析予防指導管理料	H24.11. 1	乳がんセンチネルリンパ節加算2		R 4. 7. 1				
			小児運動器疾患指導管理料	R 2. 4. 1	経皮的冠動脈形成術		H26. 4. 1				
			婦人科特定疾患治療管理料	R 2.10. 1	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）		R 3. 6. 1				
			外来腫瘍化学療法診療料Ⅰ	R 4. 4. 1	経皮的冠動脈ステント留置術		H26. 4. 1				
			ニコチン依存症管理料	H29. 5. 1	経皮的カテーテル心筋焼灼術（磁気ナビゲーション加算）		R 4. 8. 1				
			がん治療連携指導料	H29. 3. 1	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		H10. 4. 1				
			薬剤管理指導料	H24. 9. 1	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）		R 4. 2. 1				
			医療機器安全管理料Ⅰ	H21. 2. 1	補込型心電図記録計移植術及び埋込型心電図記録計換出術		H22. 4. 1				
			在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の遠隔モニタリング加算	R 2. 7. 1	大動脈バルーンパンピング法		H10. 4. 1				
			持続血糖測定器加算（閉鎖注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）	H26. 4. 1	ダメージコントロール手術		H28. 3. 1				
			持続血糖測定器加算（閉鎖注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）	R 3.11. 1	内視鏡下胃、十二指腸穿孔孔瘻孔閉鎖術		R 5. 3. 1				
			先天性代謝異常症検査	R 2.11. 1	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）		H26. 4. 1				
			その他	入院時食事療養（I）			R元. 8. 1				

4 患者数、収益、単価、損益の動向

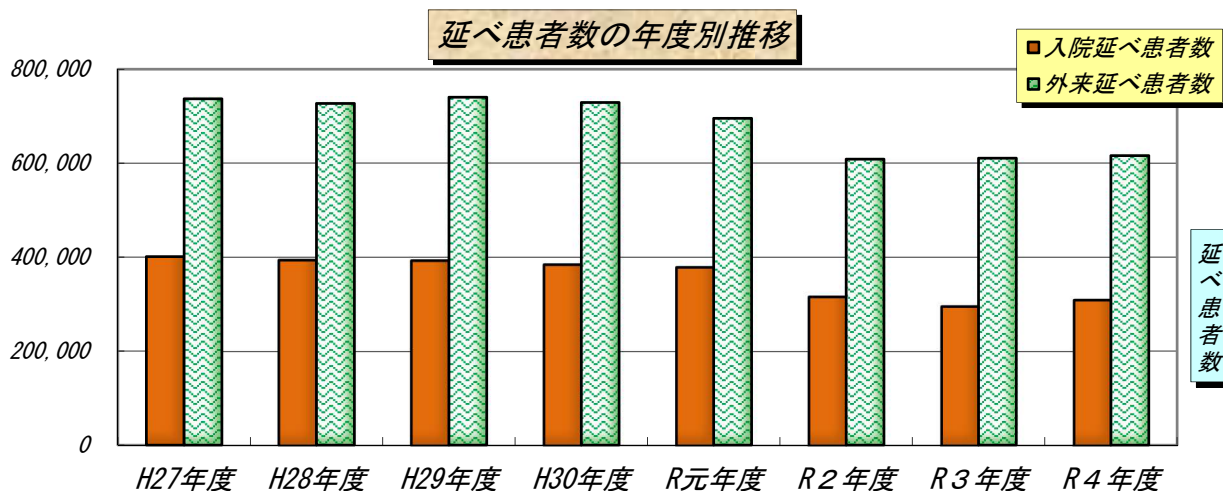
(1) 患者数

平成27年度以降の患者数をみると、4病院全体で入院、外来ともに延べ患者数は減少傾向にある。原因としては、人口減少に加え、低侵襲手術や化学療法等の普及などの医療の高度化、DPC（診断群分類包括評価）導入等による医療の標準化、さらには地域の医療機関との機能分担や連携促進等に積極的に取り組んだ結果、平均在院日数が短くなったことなどがあげられる。

令和2年度以降は、新型コロナウイルスへの感染を恐れて受診控えがあったことや県内での発生当初から県立病院が重点医療機関として積極的にコロナ患者の受入れ対応を行う中、診療制限を行わざるを得ない局面があったこと等により、患者数が大きく落ち込んだが、令和4年度は、できる限り診療制限を回避し、新型コロナウイルス感染症への対応と通常医療の両立を図ったことで、患者数が増加に転じたものの、コロナ禍前の令和元年度の水準までは回復していない。

(延べ患者数 人間ドック・検診を除く、単位：人)

		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
中央	入院	239,973	226,798	225,164	219,632	218,208	187,188	178,328	188,401
	外来	405,825	388,442	392,163	379,275	361,890	323,641	323,484	321,158
	計	645,798	615,240	617,327	598,907	580,098	510,829	501,812	509,559
今治	入院	67,434	68,297	68,578	66,667	66,563	54,712	53,363	51,179
	外来	136,826	138,632	143,741	146,374	139,312	117,254	121,006	122,427
	計	204,260	206,929	212,319	213,041	205,875	171,966	174,369	173,606
南宇和	入院	34,421	33,476	37,708	38,132	36,832	30,522	25,937	26,799
	外来	76,735	78,706	82,262	84,154	79,142	69,294	66,812	65,326
	計	111,156	112,182	119,970	122,286	115,974	99,816	92,749	92,125
新居浜	入院	59,480	65,421	61,487	59,871	57,066	43,544	37,818	42,911
	外来	117,614	121,294	122,261	119,563	115,056	98,447	99,334	107,363
	計	177,094	186,715	183,748	179,434	172,122	141,991	137,152	150,274
4病院	入院	401,308	393,992	392,937	384,302	378,669	315,966	295,446	309,290
	外来	737,000	727,074	740,427	729,366	695,400	608,636	610,636	616,274
	計	1,138,308	1,121,066	1,133,364	1,113,668	1,074,069	924,602	906,082	925,564



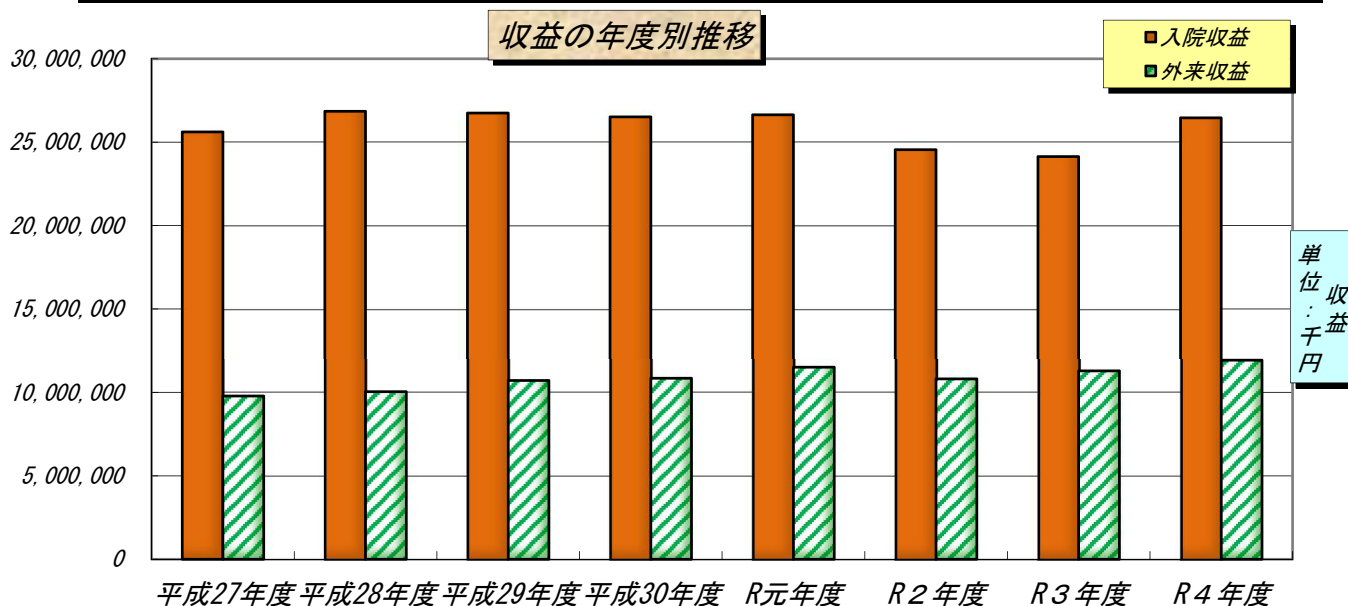
(2) 収 益

平成 27 年度以降の収益を見ると、平成 30 年度に 4 病院合計で前年比減となったことから、令和元年度以降、各病院の経営改善努力により、延べ患者数の減をカバーする診療単価のアップを図ってきた。

新型コロナウイルス感染症の発生以降、患者数が大幅に減少したことで収益も悪化したものの、令和 4 年度から、新型コロナウイルス感染症への対応と通常医療の両立を図ったことで患者数及び手術件数が増加したことから、令和 4 年度の収益はコロナ禍前の令和元年度と同程度の水準まで回復している。

(税込み、単位：千円)

		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
中 央	入院	17,861,484	18,357,618	18,343,016	18,561,234	18,604,507	17,408,629	17,044,309	18,234,536
	外来	6,400,834	6,668,988	7,171,396	7,343,933	7,967,657	7,582,966	8,000,317	8,339,682
	計	24,262,318	25,026,606	25,514,412	25,905,167	26,572,164	24,991,595	25,044,626	26,574,218
今 治	入院	3,477,267	3,615,623	3,566,603	3,561,830	3,588,590	3,189,966	3,326,373	3,490,089
	外来	1,326,907	1,329,415	1,360,442	1,360,036	1,368,018	1,248,031	1,333,336	1,520,501
	計	4,804,174	4,945,038	4,927,045	4,921,866	4,956,608	4,437,997	4,659,709	5,010,590
南 宇 和	入院	1,044,928	1,106,296	1,225,494	1,243,348	1,259,493	1,109,518	957,588	1,102,089
	外来	933,504	785,418	822,383	860,801	854,433	830,408	847,003	854,609
	計	1,978,432	1,891,714	2,047,877	2,104,149	2,113,926	1,939,926	1,804,591	1,956,698
新 居 浜	入院	3,230,831	3,776,814	3,613,635	3,153,330	3,192,444	2,844,401	2,810,488	3,635,955
	外来	1,126,046	1,257,610	1,362,389	1,283,591	1,318,071	1,150,400	1,105,791	1,215,868
	計	4,356,877	5,034,424	4,976,024	4,436,921	4,510,515	3,994,801	3,916,279	4,851,823
4 病 院	入院	25,614,510	26,856,351	26,748,747	26,519,742	26,645,034	24,552,514	24,138,758	26,462,669
	外来	9,787,290	10,041,431	10,716,610	10,848,361	11,508,179	10,811,805	11,286,447	11,930,660
	計	35,401,800	36,897,782	37,465,357	37,368,103	38,153,213	35,364,319	35,425,205	38,393,329

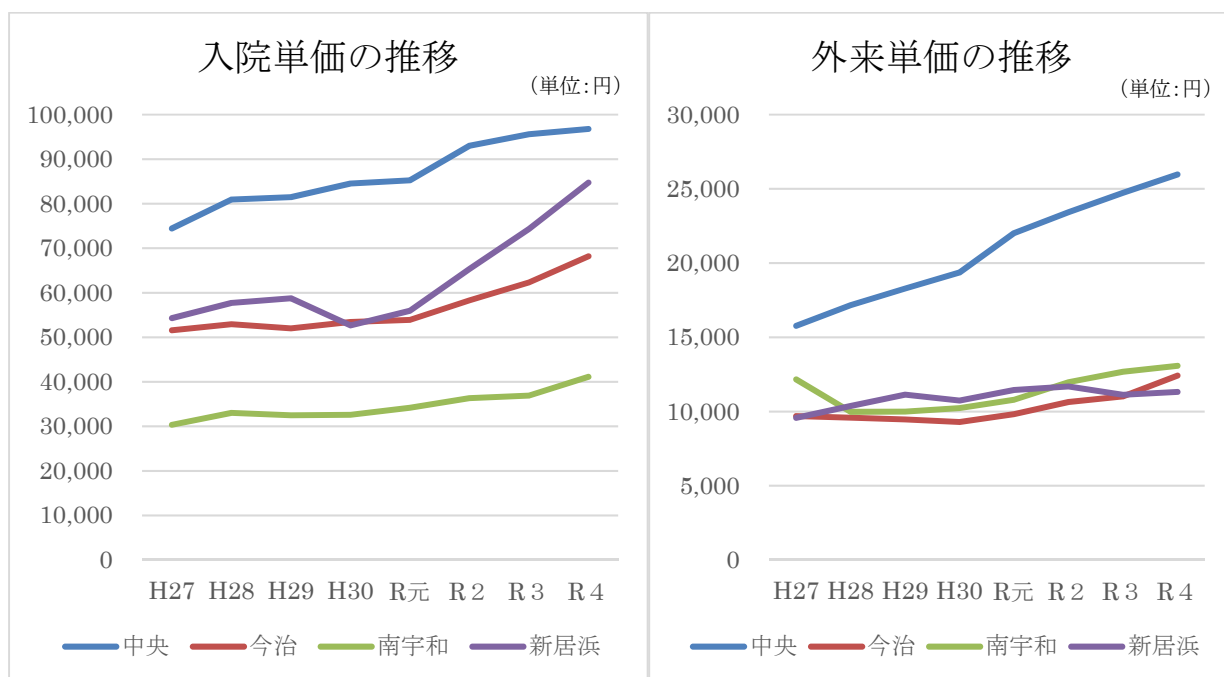


(3) 診療単価

診療単価の推移をみると、令和元年度以降、各病院の経営改善努力により、入院・外来単価ともに増加している。特に、中央病院において化学療法の拡大による高額医薬品の使用が増加したことや新居浜病院において令和3年度から心臓血管外科の開胸手術が再開されたことにより、診療単価の増加幅が大きくなっている。

(税込み、単位：円)

		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
中央	入院	74,431	80,943	81,465	84,511	85,260	93,001	95,578	96,786
	外来	15,772	17,169	18,287	19,363	22,017	23,430	24,732	25,968
今治	入院	51,565	52,940	52,008	53,427	53,913	58,305	62,335	68,194
	外来	9,698	9,590	9,465	9,292	9,820	10,644	11,019	12,420
南宇和	入院	30,357	33,047	32,500	32,606	34,196	36,351	36,920	41,124
	外来	12,165	9,979	9,997	10,229	10,796	11,984	12,677	13,082
新居浜	入院	54,318	57,731	58,771	52,669	55,943	65,322	74,316	84,732
	外来	9,574	10,368	11,143	10,736	11,456	11,685	11,132	11,325
4病院	入院	63,828	68,165	68,074	69,008	70,365	77,706	81,703	85,559
	外来	13,280	13,811	14,474	14,874	16,549	17,764	18,483	19,359



(4) 損益

4病院全体の損益は平成29年度までは黒字であったが、平成30年度は入院・外来患者数の減少や診療報酬マイナス改定等の影響により収益が減少したことに加え、人件費や前年度の高額医療機器更新に伴う減価償却費等の費用が増加したことから9年ぶりの赤字となった。

このため、令和元年度に各病院に副院長をトップとするプロジェクトチームを設置し経営改善に取り組んだ結果、入院・外来収益が過去最高になるなど収支は改善したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度終盤に患者数が大きく落ち込んだことから、黒字回復には至らなかった。

令和2年度以降は、患者の受診控えや新型コロナ患者の受入れ対応を積極的に行ったことに伴う診療制限等の影響で患者数が大きく落ち込んだものの、新型コロナウイルス感染症対応のための病床確保に対し国の財政支援があったことから3年連続で黒字を確保することができた。

①全体損益の推移

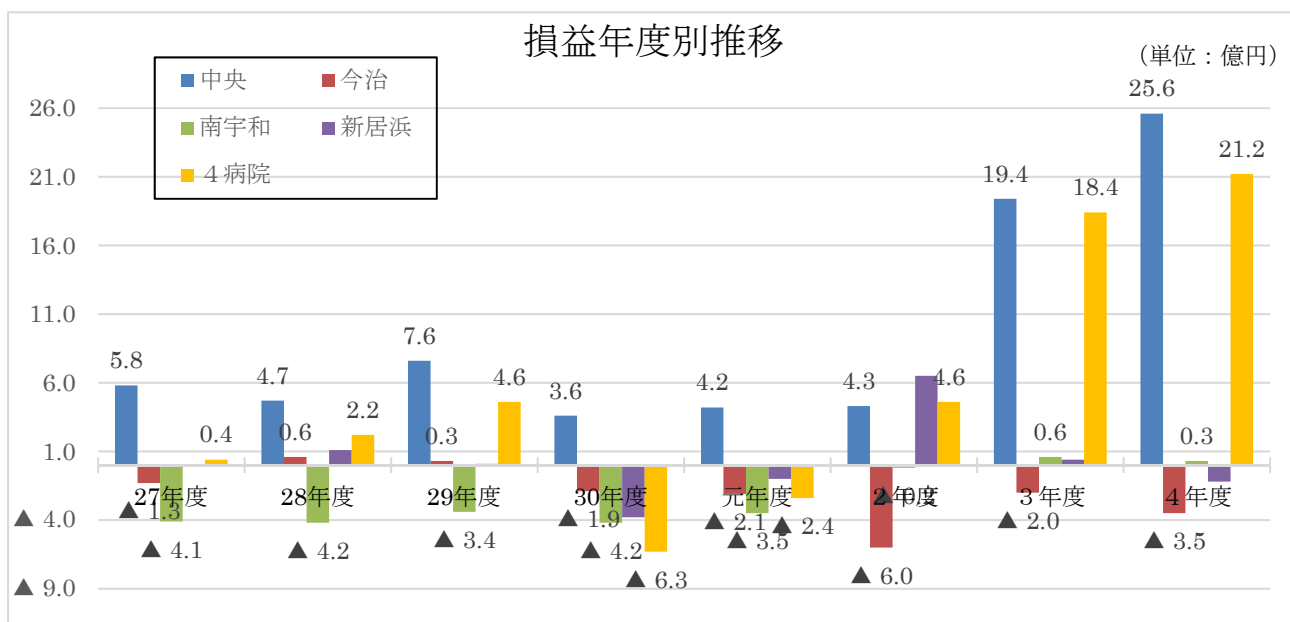
(単位：億円)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
損益	0.4	2.2	4.6	▲6.3	▲2.4	4.6	18.4	21.2
収益	431.6	445.6	450.1	448.2	456.3	460.2	477.7	515.1
費用	431.2	443.4	445.5	454.5	458.7	455.6	459.3	493.9

②病院別損益の推移

(単位：億円)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
中央	5.8	4.7	7.6	3.6	4.2	4.3	19.4	25.6
今治	▲1.3	0.6	0.3	▲1.9	▲2.1	▲6.0	▲2.0	▲3.5
南宇和	▲4.1	▲4.2	▲3.4	▲4.2	▲3.5	▲0.2	0.6	0.3
新居浜	0	1.1	0.1	▲3.8	▲1.0	6.5	0.4	▲1.2
合計	0.4	2.2	4.6	▲6.3	▲2.4	4.6	18.4	21.2



第3 病院を取り巻く環境等の変化

1 人口の減少、高齢者の増加

国立社会保障人口問題研究所が公表している令和27年までの将来推計データによると、愛媛県内全域において人口が減少する推計結果となっており、平成27年からの10年間では特に宇和島圏域（△18.2%）及び八幡浜・大洲圏域（△17.6%）の人口減少率が大きくなっている。

65歳以上の割合である高齢化率の推移をみると、平成27年では、宇和島圏域が37.8%と最も高く、次いで八幡浜・大洲圏域が37.7%、今治圏域が33.9%となっているが、令和7年にはさらにこれらの圏域の高齢化が進み、宇和島圏域が44.8%、八幡浜・大洲圏域が43.7%、今治圏域が37.2%と推計されている。

これらのことから、県内4ヶ所の県立病院のうち、宇和島圏域にある南宇和病院が最も人口減少や高齢化の影響を受けやすく、次いで今治病院への影響があるものと推測される。

○各医療圏域別人口減少率・高齢化率一覧

医療圏域	人口（減少率）	高齢化率	
	H27⇒R7 (2015⇒2025)	H27(2015)	R7(2025)
宇摩圏域	△12.5%	30.2%	37.1%
新居浜・西条圏域	△8.0%	30.8%	34.1%
今治圏域	△9.9%	33.9%	37.2%
松山圏域	△4.1%	27.0%	31.3%
八幡浜・大洲圏域	△17.6%	37.7%	43.7%
宇和島圏域	△18.2%	37.8%	44.8%

出典：国立社会保障人口問題研究所
日本の地域別将来推計人口（R5年度推計）

（参考）二次保健医療圏（医療圏域）

区域名	面積 (k m ²)	人口（人）		構成市町村
		H27	R2	
宇摩圏域	420.57	87,413	82,754	四国中央市
新居浜・西条圏域	743.39	228,077	220,729	新居浜市、西条市
今治圏域	450.32	165,249	158,181	今治市、越智郡(上島町)
松山圏域	1,540.52	646,055	637,742	松山市、伊予市、東温市、上浮穴郡(久万高原町)、伊予郡(松前町、砥部町)
八幡浜・大洲圏域	1,473.96	144,324	131,669	八幡浜市、大洲市、西予市、喜多郡(内子町)、西宇和郡(伊方町)
宇和島圏域	1,049.57	114,144	103,766	宇和島市、北宇和郡(松野町、鬼北町)、南宇和郡(愛南町)
愛媛県	5,678.33	1,385,262	1,334,841	11市9町

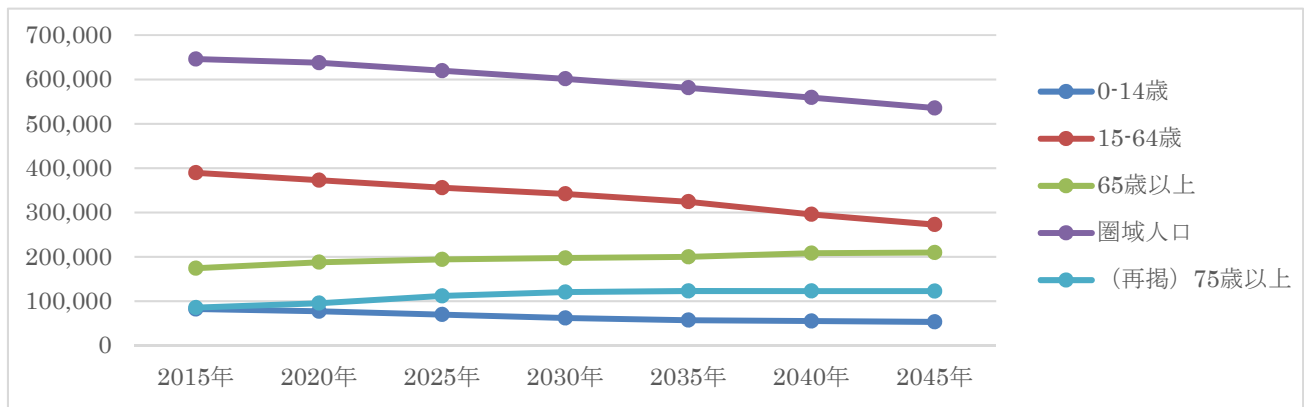
※人口は、平成27年及び令和2年国勢調査人口

(関係医療圏域抜粋)

1 松山圏域

推計人口（2015年、2020年実績、2025～2045年の推計）

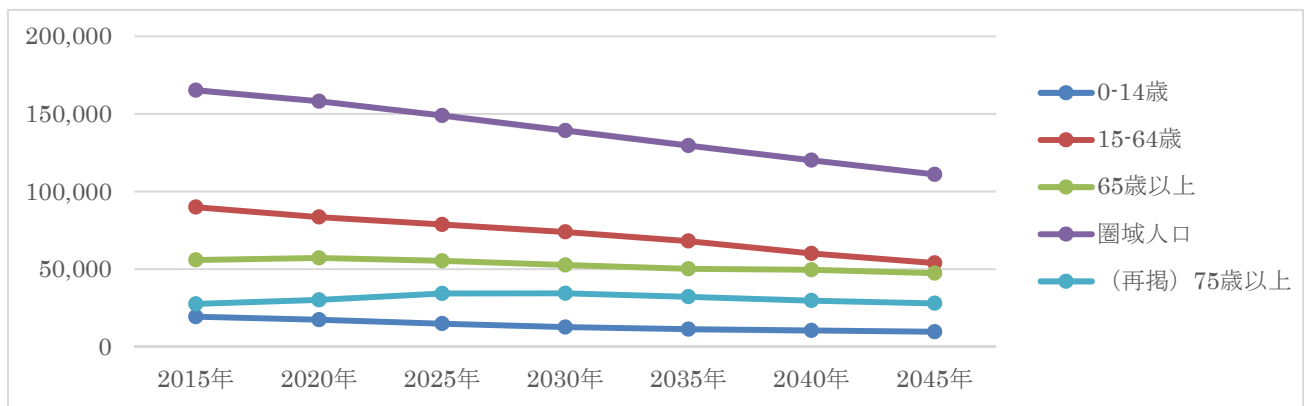
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0-14歳	82,287	77,108	69,730	61,971	57,148	55,208	53,254
15-64歳	389,496	372,797	355,866	341,935	324,180	295,734	272,634
65歳以上	174,272	187,837	194,062	197,421	199,942	208,217	209,658
圏域人口	646,055	637,742	619,658	601,327	581,270	559,159	535,546
(再掲)75歳以上	85,483	95,434	111,797	120,407	122,938	122,813	122,613



2 今治圏域

推計人口（2015年、2020年実績、2025～2045年の推計）

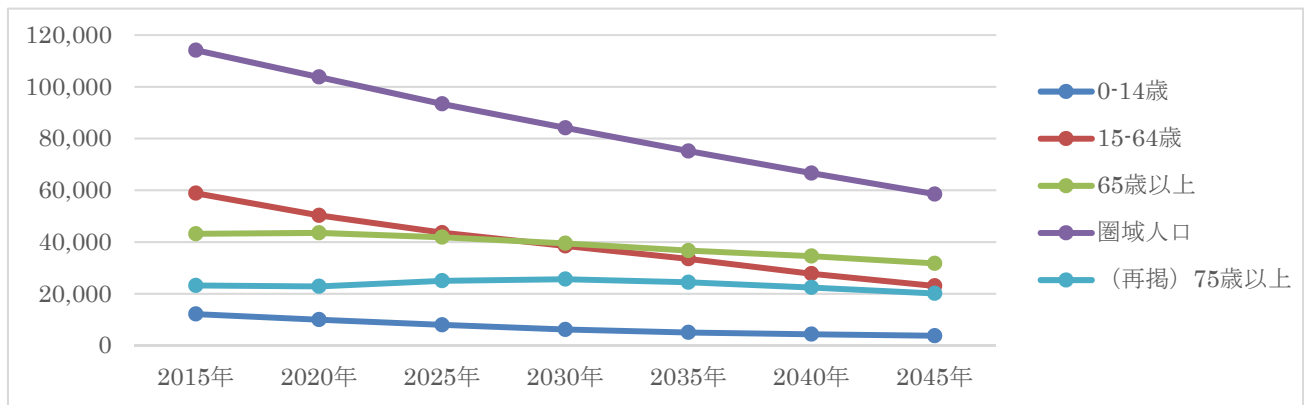
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0-14歳	19,367	17,397	14,867	12,643	11,307	10,500	9,690
15-64歳	89,943	83,569	78,751	73,955	68,090	60,079	53,954
65歳以上	55,939	57,215	55,352	52,682	50,195	49,583	47,410
圏域人口	165,249	158,181	148,970	139,280	129,592	120,162	111,054
(再掲)75歳以上	27,635	30,200	34,318	34,431	32,211	29,716	27,995



3 宇和島圏域

推計人口（2015年、2020年実績、2025～2045年の推計）

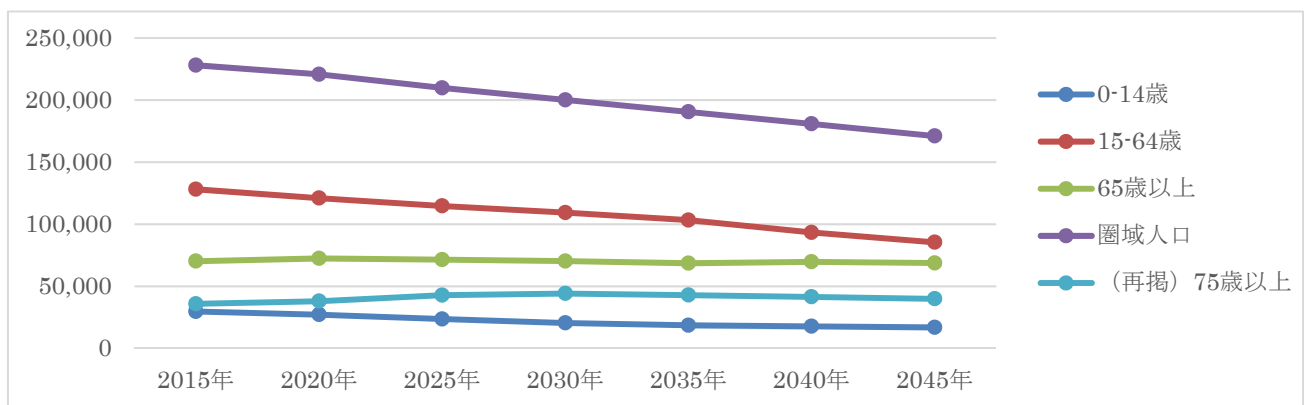
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0-14歳	12,133	9,966	7,974	6,186	5,027	4,331	3,759
15-64歳	58,852	50,281	43,593	38,465	33,476	27,738	23,026
65歳以上	43,159	43,519	41,828	39,490	36,671	34,553	31,730
圏域人口	114,144	103,766	93,395	84,141	75,174	66,622	58,515
(再掲)75歳以上	23,192	22,848	25,028	25,625	24,418	22,408	20,116



4 新居浜西条圏域

推計人口（2015年、2020年実績、2025～2045年の推計）

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0-14歳	29,712	27,204	23,616	20,498	18,641	17,770	16,874
15-64歳	128,151	121,062	114,745	109,341	103,286	93,377	85,423
65歳以上	70,214	72,463	71,443	70,305	68,579	69,712	68,755
圏域人口	228,077	220,729	209,804	200,144	190,506	180,859	171,052
(再掲)75歳以上	35,898	38,016	42,880	44,190	42,915	41,509	39,963



2 各圏域別入院患者動態推移

愛媛県が県下の全病院及び全有床診療所を対象に実施している「入院患者調査」によると、平成3年以降、県内全ての圏域において入院患者数は減少しており、今後、県内の人口減少や医療の高度化・標準化の進展等により、平均在院日数が短縮され、更なる入院延べ患者数の減少が見込まれる。

また、厚生労働省が試算した令和2年の二次医療圏域別流出入率によると、松山以外の全ての圏域から医療資源が充実している「松山」圏域に患者が流入するといった、圏域間の移動も見受けられ、その傾向は、患者への診療密度が高くなればなるほど、顕著となっている。

(1) 圏域別県内入院患者数（各年調査日時点の患者数）

圏域名	平成6年	平成11年	平成16年	平成22年	平成28年
宇摩	1,552	1,518	1,455	1,304	1,145
新居浜・西条	4,282	4,152	4,117	3,711	3,205
今治	3,268	3,139	2,951	2,770	2,497
松山	9,716	9,449	8,934	8,508	7,335
八幡浜・大洲	3,220	3,195	3,109	2,888	2,376
宇和島	2,595	2,392	2,401	1,998	1,687
総計	24,663	23,845	22,967	21,179	18,245

(愛媛県入院患者調査)

(2) 二次医療圏域別流出入率

ア 高度急性期

松山以外の医療圏域から「松山」に流入する傾向が顕著であり、特に「八幡浜・大洲」が高く、次いで「新居浜・西条」、「今治」からの流入が高くなっている。

また、「宇摩」から「香川県三豊」や「新居浜・西条」への流出のほか、「今治」から「広島県尾三」への流出も一部認められる。

2025年の二次医療圏別流出入率

<高度急性期>

		医療機関所在地(二次医療圏)							
		本県						他県	
		宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	尾三(広島県)	三豊(香川県)
患者住所地(二次医療圏)	本県	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	尾三(広島県)	三豊(香川県)
	宇摩	49.3%	13.6%	0.1%	10.9%	0.0%	0.1%	0.0%	14.2%
	新居浜・西条	0.2%	73.5%	2.3%	20.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%
	今治	0.0%	0.6%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
	松山	0.0%	0.2%	0.1%	97.8%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
	八幡浜・大洲	0.0%	0.2%	0.1%	43.0%	44.5%	9.9%	0.0%	0.0%
宇和島	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	0.6%	82.7%	0.0%	0.0%	

※他県データは、圏域計が1%以上の医療圏のみ記載。

イ 急性期

高度急性期ほど顕著ではないものの、「松山」に流入する傾向があり、特に「八幡浜・大洲」が高く、次いで「新居浜・西条」、「今治」が高くなっている。一方で、「宇摩」では、「香川県三豊」や「新居浜・西条」への流出も認められる。

2025年の二次医療圏別流出入率

<急性期>

		医療機関所在地(二次医療圏)							
		本県						他県	
		宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	三豊(香川県)	
患者住所地(二次医療圏)	本県	宇摩	68.2%	10.8%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	11.3%
		新居浜・西条	0.2%	84.0%	1.8%	11.8%	0.0%	0.1%	0.1%
		今治	0.0%	0.6%	81.9%	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%
		松山	0.0%	0.1%	0.2%	98.4%	0.1%	0.1%	0.0%
		八幡浜・大洲	0.0%	0.2%	0.1%	23.1%	67.8%	7.6%	0.0%
		宇和島	0.0%	0.1%	0.1%	7.8%	0.8%	88.8%	0.0%

※他県データは、圏域計が1%以上の医療圏のみ記載。

ウ 回復期

高度急性期ほど顕著ではないものの、「松山」に流入する傾向があり、特に「八幡浜・大洲」が高く、次いで「新居浜・西条」が高くなっている。

一方で、「宇摩」から「新居浜・西条」や「香川県三豊」のほか、「今治」から「広島県尾三」、「宇和島」から「高知県幡多」への流出も認められる。

2025年の二次医療圏別流出入率

<回復期>

		医療機関所在地(二次医療圏)										
		本県						他県				
		宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	尾三(広島県)	三豊(香川県)	中央(高知県)	幡多(高知県)	
患者住所地(二次医療圏)	本県	宇摩	74.8%	9.6%	0.0%	5.1%	0.1%	0.0%	0.0%	6.2%	0.2%	0.0%
		新居浜・西条	0.8%	81.8%	2.4%	12.8%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
		今治	0.0%	0.5%	82.0%	8.4%	0.1%	0.0%	6.2%	0.0%	0.2%	0.0%
		松山	0.0%	0.1%	0.2%	98.3%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
		八幡浜・大洲	0.0%	0.1%	0.1%	16.8%	76.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		宇和島	0.0%	0.0%	0.1%	9.7%	1.2%	85.9%	0.0%	0.0%	0.3%	1.7%

※他県データは、圏域計が1%以上の医療圏のみ記載。

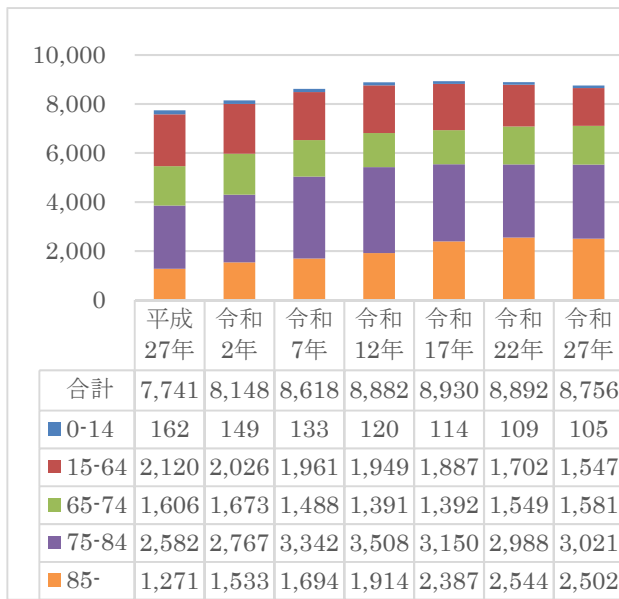
3 医療圏域別・年齢階級別入院患者動態推移

将来推計人口の推移を基に、医療圏域別の入院患者予測（試算）を行ったところ、県立病院が所在する各医療圏域における入院患者の見込みは次のとおりである。（1日平均入院患者数予測）

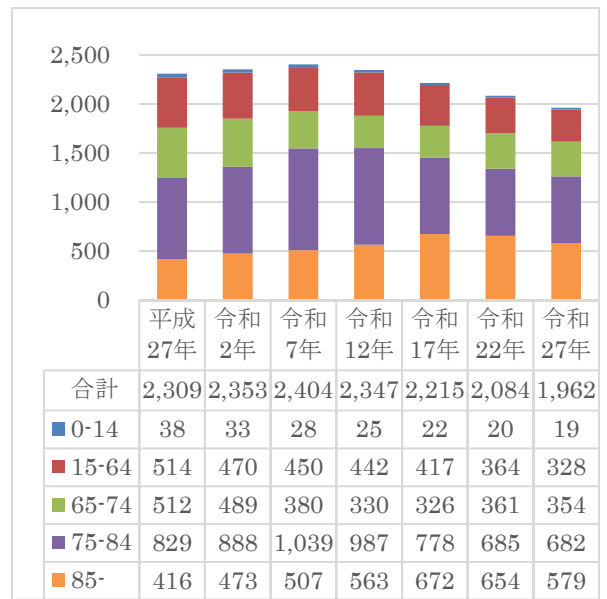
宇和島圏域では既に入院患者数の減少が始まっており、減少率が特に高くなっている。また、今治圏域では令和12年から、新居浜・西条圏域では令和17年から、松山圏域では令和22年から減少に転じる見込みとなっている。

65歳以上の高齢者数については、今治圏域及び宇和島圏域で令和7年をピークに減少が始まり、新居浜・西条圏域では令和17年から、松山圏域では令和27年から減少に転じる見込みとなっている。

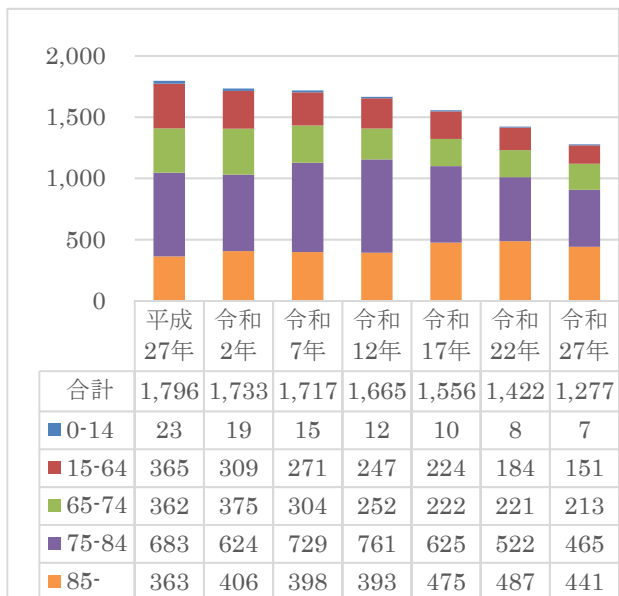
(1) 松山圏域（中央病院）



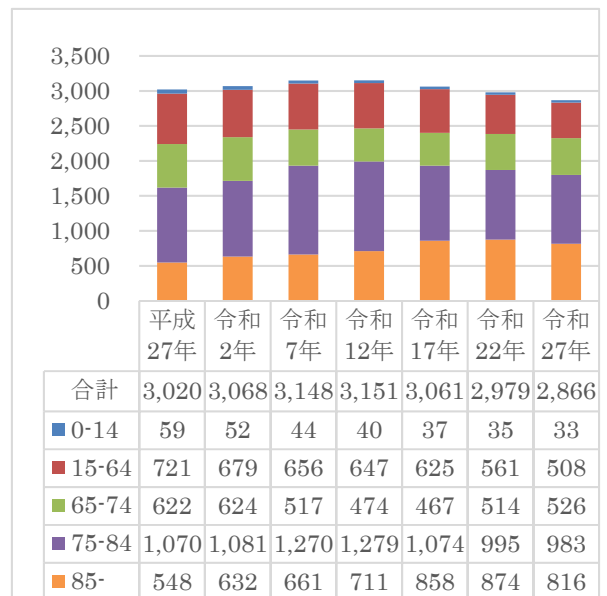
(2) 今治圏域（今治病院）



(3) 宇和島圏域（南宇和病院）



(4) 新居浜・西条圏域（新居浜病院）



- ・受療率＝「傷病大分類・性・年齢階級別疾患入院患者数（愛媛県入院患者調査(H28)）」÷「県全体推計人口（2020年）」
- ・将来推計入院患者数＝「将来推計圏域人口（国勢調査(R2)）」×「受療率」

4 医療圏域別シェアの試算

平成30年度のDPCデータ（厚生労働省が公表した平成30年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告のデータをもとに民間の専門情報サイト「病院情報局（URL:https://hospia.jp）」が公開）から県立4病院の二次医療圏域別のシェア等を以下に示した。なお、このシェアは主要診断群分類ごとのシェアであり、各病院の診療科ごとのシェアを表しているものではない。

(1) 松山二次医療圏域における中央病院のシェア

ほとんどの分類で医療圏シェアが20～40%と高く、全症例では圏域の23.6%となっている。月平均患者数の合計は県内で最も多く、県の基幹病院としての役割を果たしている。

また、ほとんどの分類で傷病の複雑性を示す患者構成指標が高く（全国平均の1以上）、かつ、治療の効率性を示す在院日数指標も高い（全国平均の1以上）ことから、在院日数が長くなりがちな複雑な傷病の患者に対して、効率的な医療を提供していると考えられる。

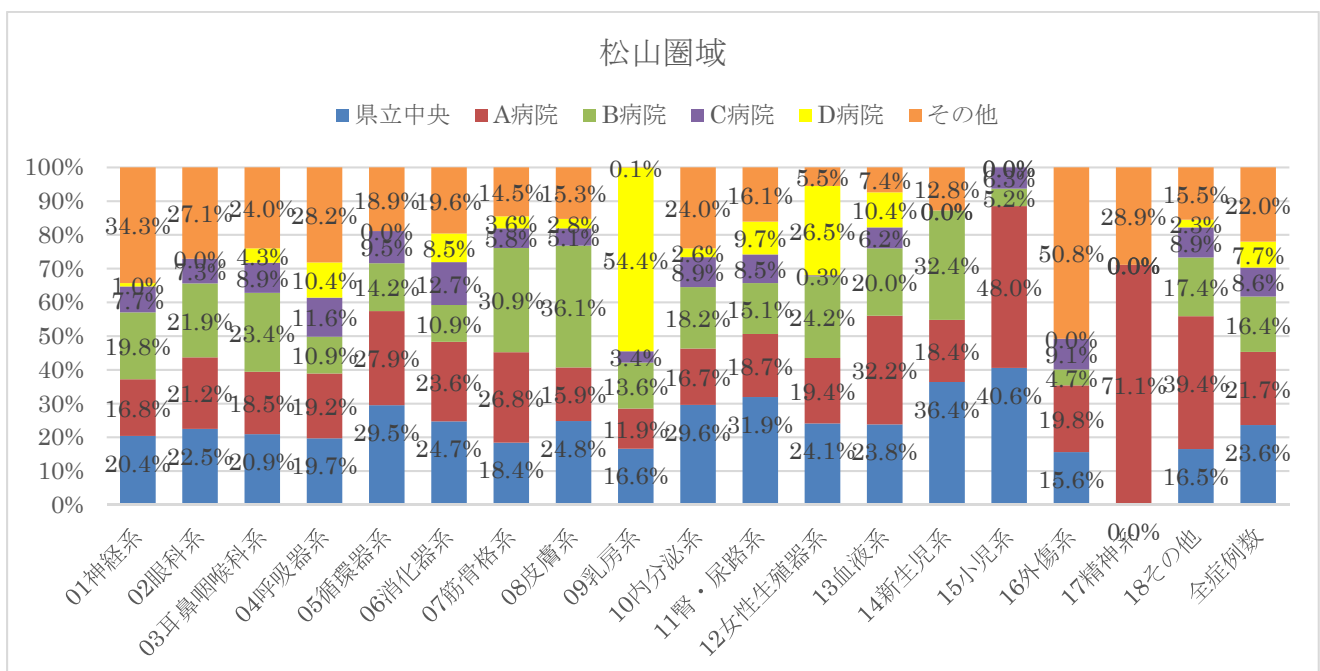
- ・患者構成指標：当病院のDPC毎の平均在院日数を全国平均に合わせた上で再計算したMDC別平均在院日数÷全国平均のMDC別平均在院日数
- ・在院日数指標：全国平均のMDC別平均在院日数÷当病院のDPC毎の患者構成を全国平均に合わせて再計算したMDC別平均在院日数

中央病院 疾患領域別データ(平成30年度DPCデータ)

主要診断群分類	月平均患者数	医療圏シェア	平均在院日数	患者構成指標※1	在院日数指標※2
01神経系疾患	81.8	20.4%	16.8	1.03	1.12
02眼科系疾患	87.5	22.5%	4.2	0.98	1.09
03耳鼻咽喉科系疾患	51.5	20.9%	10.5	1.29	1.07
04呼吸器系疾患	135.6	19.7%	10.8	0.93	1.37
05循環器系疾患	162.6	29.5%	9.9	1.13	1.35
06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	316.3	24.7%	10	1.15	1.19
07筋骨格系疾患	57.3	18.4%	14.4	0.97	1.06
08皮膚・皮下組織の疾患	25.8	24.8%	6.9	0.74	1.23
09乳房の疾患	21.9	16.6%	7.6	0.93	1.09
10内分泌・栄養・代謝に関する疾患	55.4	29.6%	10.1	1	1.21
11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患	148	31.9%	9.3	1.03	1.27
12女性生殖系疾患及び産婦科疾患・異常妊娠分娩	98.8	24.1%	12.3	1.22	1.01
13血液系・造血器・免疫臓器の疾患	42.5	23.8%	18	1.16	1.24
14新生児疾患、先天性奇形	44.4	36.4%	15.6	1.19	1.03
15小児疾患	9.2	40.6%	6.6	1.04	1.3
16外傷・熱傷・中毒	57.3	15.6%	16.8	1.06	0.91
17精神疾患	0	0.0%	0	0	0
18その他	14.2	16.5%	23.5	1.11	0.71
全症例数	1410.1	23.6%	11.1	1.04	1.16

出典：病院情報局

※1 平均在院日数が長い複雑な傷病の患者割合が高いほど大きくなる。(全国平均1)
 ※2 同一患者構成で比較した場合の平均在院日数が短いほど大きくなる。(全国平均1)



(出典：病院情報局 平成30年度データ)

※上記グラフは各医療機関のシェアを単純に示したものであり、診断群分類区分によっては、極端に患者が少ない場合がある。

(2) 今治二次医療圏域における今治病院のシェア

入院患者数が多い分類のほとんどで医療圏シェアが20%以上となっており、全体でも27.6%となるなど、圏域の中核病院の機能を担っている。全体での在院日数指標は0.97と全国平均の1に近く、標準的な在院日数での診療を行っていると考えられる。

特にMDC12（女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩）及びMDC14（新生児疾患、先天性奇形）のシェアが100%であるなど、周産期医療において、圏域の中心的な役割を果たしている。

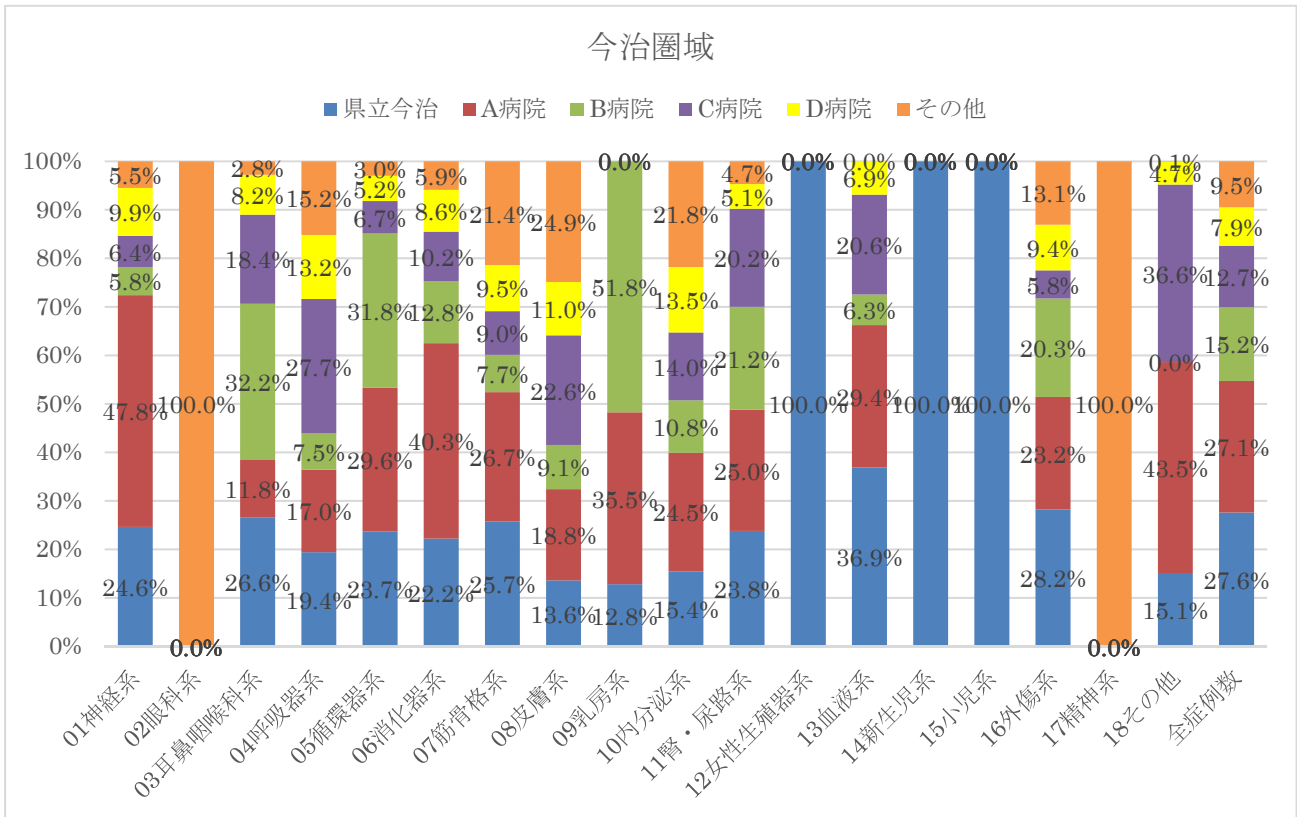
今治病院 疾患領域別データ(平成30年度DPCデータ)

出典：病院情報局

主要診断群分類	月平均患者数	医療圏シェア	平均在院日数	患者構成指標※1	在院日数指標※2
01神経系疾患	14.4	24.6%	25.4	0.94	0.74
02眼科系疾患	0	0.0%	0	0	0
03耳鼻咽喉科系疾患	10	26.6%	5.7	0.74	1.06
04呼吸器系疾患	29.7	19.4%	8	0.58	1.14
05循環器系疾患	36.4	23.7%	10.6	0.95	1.1
06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	56.8	22.2%	10.9	0.93	0.95
07筋骨格系疾患	8.3	25.7%	22	1.1	0.7
08皮膚・皮下組織の疾患	1.8	13.6%	9.7	0.94	1.09
09乳房の疾患	1.5	12.8%	8.6	0.89	0.88
10内分泌・栄養・代謝に関する疾患	5.3	15.4%	8.7	0.91	1.33
11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	22.3	23.8%	8.9	0.98	1.41
12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	46.7	100.0%	11.3	1.1	0.97
13血液系・造血器・免疫臓器の疾患	4.9	36.9%	16.9	0.85	1.05
14新生児疾患、先天性奇形	23.2	100.0%	10.2	0.71	1.06
15小児疾患	4	100.0%	7.6	0.94	1.02
16外傷・熱傷・中毒	23.7	28.2%	17.2	1.04	0.97
17精神疾患	0	0.0%	0	0	0
18その他	2.9	15.1%	17.9	0.91	0.89
全症例数	292	27.6%	11.9	0.89	0.97

※1 平均在院日数が長い複雑な傷病の患者割合が高いほど大きくなる。(全国平均1)

※2 同一患者構成で比較した場合の平均在院日数が短いほど大きくなる。(全国平均1)



(出典：病院情報局 平成30年度データ)

※上記グラフは各医療機関のシェアを単純に示したものであり、診断群分類区分によっては、極端に患者が少ない場合がある。

(3) 宇和島二次医療圏域における南宇和病院のシェア

二次医療圏域でのシェアは 11.1%ではあるが、立地から病院周辺のみより身近な地域ではある程度高いシェアを占めているものと推定され、愛南地域における入院医療需要に応え、診療科が限られている中で、地域医療を支えていると考えられる。

特に MDC02 (眼科系疾患)、MDC04 (呼吸器系疾患)、MDC11 (腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患) 及び MDC16 (外傷・熱傷・中毒) では医療圏シェアが 15%以上となっており、地域に欠かせない医療機能を担っている。

在院日数指標は全体で 0.86 とやや低いが、他に入院機能を有する医療機関が少なく、高齢患者が多い地域性が影響しているものと考えられる。

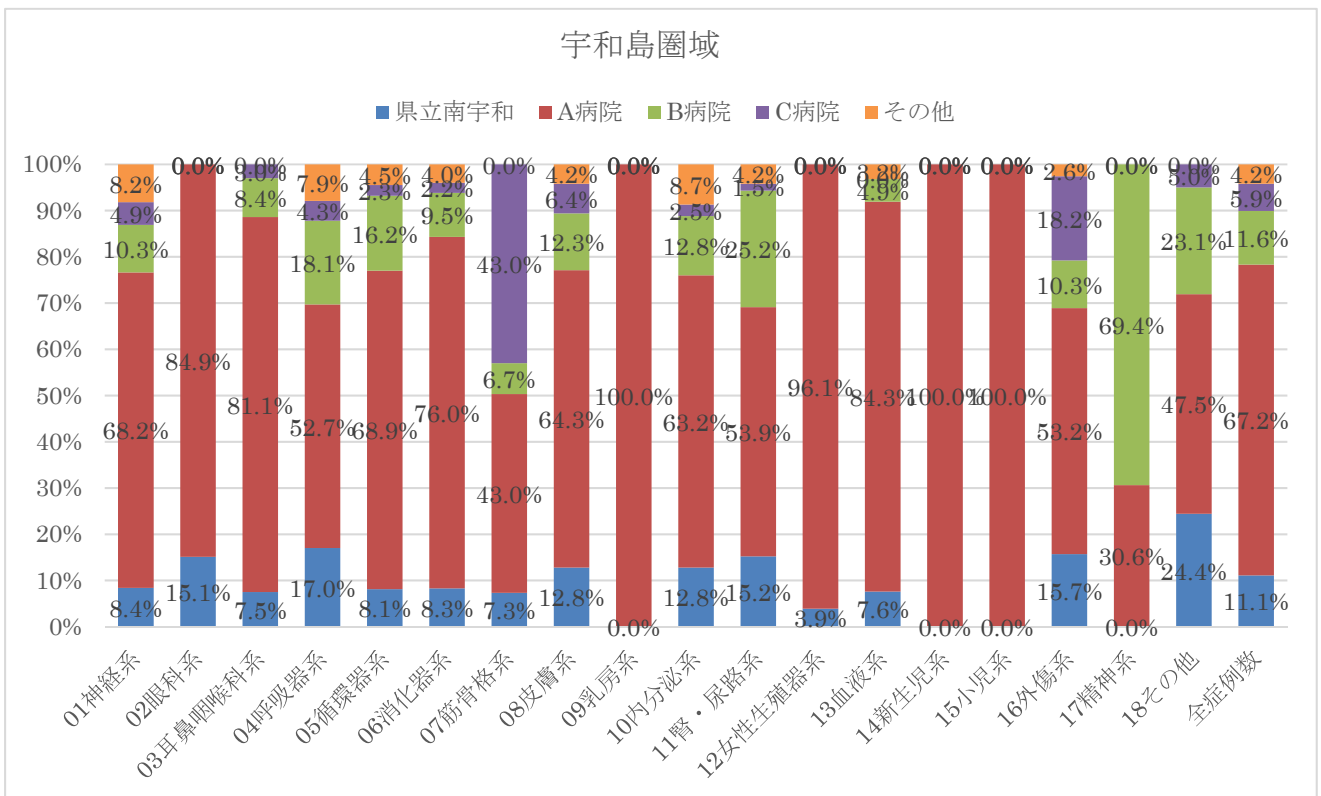
南宇和病院 疾患領域別データ(平成30年度DPCデータ)

出典: 病院情報局

主要診断群分類	月平均患者数	医療圏シェア	平均在院日数	患者構成指標※1	在院日数指標※2
01神経系疾患	7.1	8.4%	21.7	0.97	0.9
02眼科系疾患	11.6	15.1%	2.1	0.65	2.13
03耳鼻咽喉科系疾患	3.6	7.5%	6.2	0.8	1.42
04呼吸器系疾患	19.6	17.0%	19.6	1.16	0.83
05循環器系疾患	8.1	8.1%	18.7	1.36	0.97
06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	21.4	8.3%	9.7	0.8	1.14
07筋骨格系疾患	3.8	7.3%	15.2	0.79	1.09
08皮膚・皮下組織の疾患	2.5	12.8%	15.4	0.99	0.47
09乳房の疾患	0	0.0%	0	0	0
10内分泌・栄養・代謝に関する疾患	6.8	12.8%	19.2	1.05	0.69
11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	14.8	15.2%	15.7	1.08	0.78
12女性生殖器系疾患及び産婦科疾患・異常妊娠分娩	1.3	3.9%	4.9	0.65	1.91
13血液系・造血器・免疫臓器の疾患	2.3	7.6%	22.8	0.6	0.57
14新生児疾患、先天性奇形	0	0.0%	0	0	0
15小児疾患	0	0.0%	0	0	0
16外傷・熱傷・中毒	17.3	15.7%	23	1.05	0.66
17精神疾患	0	0.0%	0	0	0
18その他	4.5	24.4%	10	0.93	1.21
全症例数	125.5	11.1%	15.2	1.02	0.86

※1 平均在院日数が長い複雑な傷病の患者割合が高いほど大きくなる。(全国平均1)

※2 同一患者構成で比較した場合の平均在院日数が短いほど大きくなる。(全国平均1)



(出典: 病院情報局 平成30年度データ)

※上記グラフは各医療機関のシェアを単純に示したものであり、診断群分類区分によっては、極端に患者が少ない場合がある。

(4) 新居浜・西条二次医療圏における新居浜病院のシェア

分類ごとの医療圏シェアには一部偏りがあるものの、全体では圏域の 16.9%のシェアを占めているなど、圏域の中核病院の機能を担っている。全体での在院日数指標は 1.06 と全国平均の 1 に近く、標準的な在院日数での診療を行っていると考えられる。

特に MDC12 (女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩) が 35.7%、MDC14 (新生児疾患、先天性奇形) が 77.9%と高く、周産期母子医療において圏域の中心的な役割を担っている。

また、その他の患者数の多い MDC03 (耳鼻咽喉科系疾患)、MDC05 (循環器系疾患) 及び MDC06 (消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患) の在院日数指標が 1 以上であり、全国標準の医療が提供されていると考えられる。

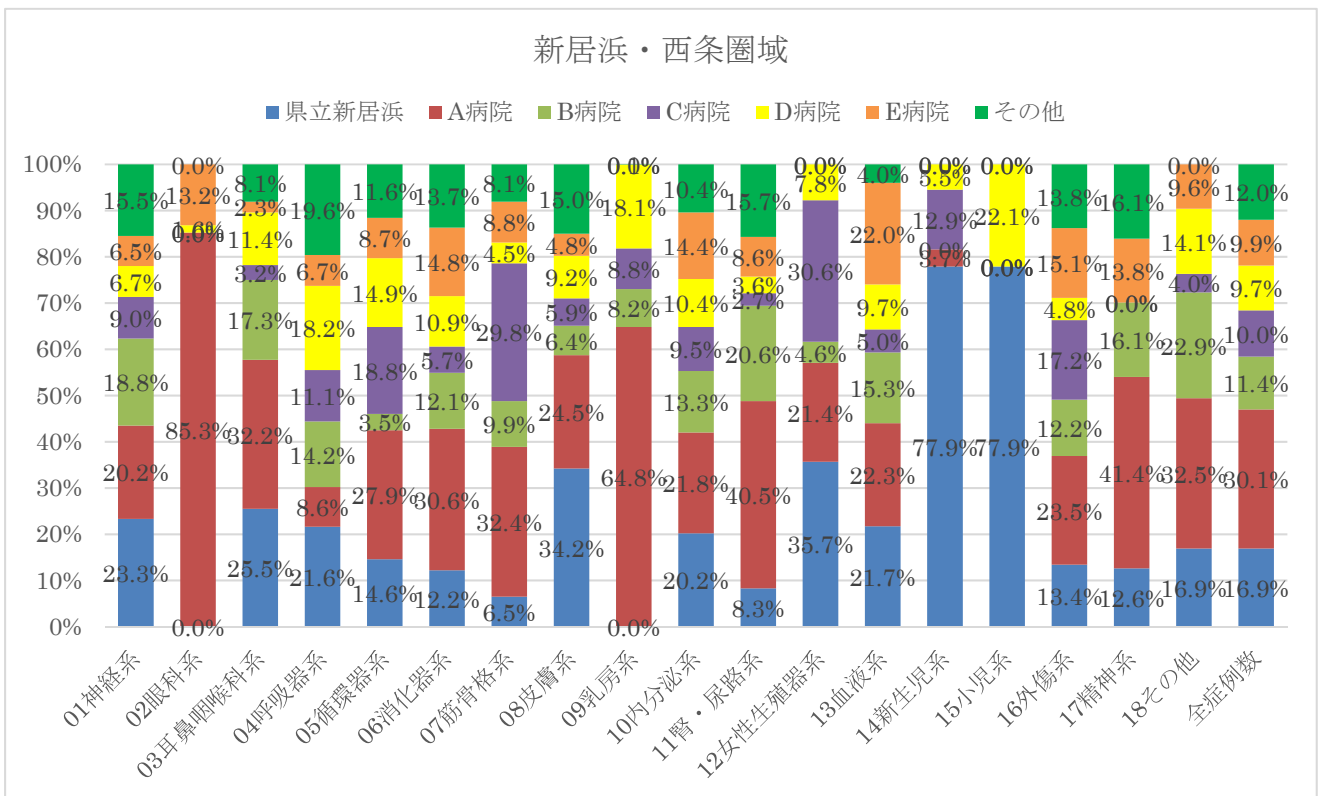
新居浜病院 疾患領域別データ(平成30年度DPCデータ)

出典: 病院情報局

主要診断群分類	月平均患者数	医療圏シェア	平均在院日数	患者構成指標※1	在院日数指標※2
01神経系疾患	24.1	23.3%	15.9	0.97	1.24
02眼科系疾患	0	0.0%	0	0	0
03耳鼻咽喉科系疾患	25.8	25.5%	5.8	0.8	1.32
04呼吸器系疾患	48	21.6%	9.3	0.71	1.09
05循環器系疾患	25.8	14.6%	12	1.14	1.18
06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	54.8	12.2%	10.8	1	1.03
07筋骨格系疾患	4.3	6.5%	18.4	0.95	0.63
08皮膚・皮下組織の疾患	11.2	34.2%	4.2	0.46	1.14
09乳房の疾患	0	0.0%	0	0	0
10内分泌・栄養・代謝に関する疾患	10.5	20.2%	7.5	0.84	1.65
11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	13	8.3%	10.8	1.01	1.19
12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	28.5	35.7%	10.6	1.27	1.07
13血液系・造血器・免疫臓器の疾患	5.4	21.7%	13.8	0.78	1.46
14新生児疾患、先天性奇形	29.6	77.9%	10.5	0.8	1.22
15小児疾患	6.8	77.9%	6	0.75	1.27
16外傷・熱傷・中毒	19	13.4%	14.4	1.05	1.04
17精神疾患	0.9	12.6%	10.3	0.87	1.12
18その他	3.5	16.9%	18.8	1.2	0.84
全症例数	311.8	16.9%	10.6	0.92	1.06

※1 平均在院日数が長い複雑な傷病の患者割合が高いほど大きくなる。(全国平均1)

※2 同一患者構成で比較した場合の平均在院日数が短いほど大きくなる。(全国平均1)



(出典: 病院情報局 平成30年度データ)

※上記グラフは各医療機関のシェアを単純に示したものであり、診断群分類区分によっては、極端に患者が少ない場合がある。

第4 県立病院の機能強化について

1 経営方針

(1) 健全経営の確保

県立病院が、高度で良質な医療を安定的に提供していくためには、優秀な人材の確保・育成・定着と医療機器の整備は必要不可欠であり、健全な経営を確立し、必要な資金の確保に努める。

(2) 病院ごとの役割・機能に応じた経営体制の強化

それぞれの病院に求められる役割・機能を明確にし、各病院の役割・機能に応じた人材の確保や適正配置、タスクシフト・タスクシェア、医療機器や施設の整備等を行うことで無駄な投資を省くとともに、職員一人一人の経営参画意識の醸成を図り経営体制の強化を図る。

2 県立病院の役割・機能

各県立病院は、それぞれ地理的・歴史的背景が異なる中で、民間医療機関では対応が困難な、救急医療、周産期医療、災害医療、感染症医療など、政策的に実施すべき医療分野のほか、県の基幹拠点病院、地域の中核病院あるいは地域に根差した病院として、心疾患や脳疾患等の基本的な急性期医療を提供する役割・機能も担っている。

(1) 中央病院

- ・ 高度救命救急センター（県下全域）
- ・ 小規模二次救急病院の後方支援病院（松山圏域）
- ・ 小児救急輪番病院（松山圏域）
- ・ 総合周産期母子医療センター（県下全域）
- ・ 災害基幹拠点病院（県下全域）
- ・ 第二種感染症指定医療機関

(2) 今治病院

- ・ 二次救急輪番病院（今治圏域）
- ・ 小児救急輪番病院（今治圏域）
- ・ 地域周産期母子医療センター（今治圏域）
- ・ 災害拠点病院（今治圏域）
- ・ 感染症医療対応病院

(3) 南宇和病院

- ・ 二次救急病院（愛南地域）
- ・ 感染症医療対応病院

(4) 新居浜病院

- ・ 東予救命救急センター（東予全域）
- ・ 二次救急病院（新居浜・西条圏域）
- ・ 小児救急輪番病院（新居浜・西条圏域及び宇摩圏域）
- ・ 地域周産期母子医療センター（新居浜・西条圏域及び宇摩圏域）
- ・ 災害拠点病院（新居浜・西条圏域）
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ 結核医療対応病院

3 県立病院の基本的な方向性

(1) 政策的医療の強化

県立病院は、従来から救急医療や周産期医療、災害医療などの採算性が低く民間病院では実施が困難な政策的な医療を担いながら、地域で総合的な機能を有する中核的医療機関としての役割を担っている。

少子高齢化の急速な進行や医師不足の深刻化、診療の高度・専門化と疾患の多様化、働き方改革と医療職人材確保の困難化等、地域医療を取り巻く環境が厳しい状況のなか、県立病院の役割は更に重要となることが想定されるため、基本的な診療機能の確保・充実だけでなく、救急医療や周産期医療といった政策的医療の強化を図る。

また、新型コロナウイルス感染症をはじめ、新たな感染症への対応については国及び県の対応方針を踏まえ、県立病院としての責任を果たしていくため、必要な人員の確保を含め、ソフトとハードの両面で体制の整備に努める。

(2) 地域医療機関等との連携強化と役割分担

団塊の世代が75歳以上となる令和7年を見据え、国では医療機能の分化・連携の推進による効率的かつ質の高い医療提供体制の構築、在宅医療と介護が結ばれた地域包括ケアシステムの充実・強化を推進している。

また、県が策定している「第7次愛媛県地域保健医療計画」でも、県立病院は地域の実情に応じた広域的な視点から地域の医療機関相互の機能分化と連携を推進し地域において必要な医療を確保することを求められていることから、引き続き、地域医療機関や介護施設等との連携強化を図りながら地域のニーズに対応する。

更に、中央病院は、県下の基幹病院として、特にがんや心疾患、脳疾患などの高度医療、三次救急や周産期医療等について中心的な役割を担っていることから、引き続き、他の県立病院との連携を促進し県立病院全体の機能強化を図る。

各県立病院においては、ホームページ等を活用した県立病院の担う役割や各種取り組みなどの情報発信を行い、病院事業の周知と啓発を図る。

(3) 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化

病院事業は、医師をはじめ看護師、薬剤師等の医療従事者や事務職などの協同作業によって成り立つ事業であり、県立病院が地域の中核病院としての役割・機能を果たしていくために、人的資源の確保と職員の質の向上を図る。

このため、関係部局とも連携して医師派遣大学への働きかけを行うほか、特に中央病院は、新たな専門医制度に対応した基幹研修施設として、医療スタッフの確保・育成機能及び医師派遣機能の強化を図る。また、へき地医療拠点病院として、へき地診療所への医師派遣を継続することで、地域医療提供体制の確保に努める。

(4) 働き方改革への対応

医療従事者が健康で安心して働くことができる環境の整備を行う必要があり、長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方等の実現が求められている。

このため、タスクシフト・タスクシェアの推進やICTの活用等により業務の効率化、負担軽減に努め、労働時間の短縮を図るほか、多様で柔軟な働き方実現に向けての取り組みを推進し、医療従事者からも選ばれる病院を目指す。

(5) 医療の質の向上

患者・家族が病状や治療について十分に理解し、正しい情報に基づき選択、合意したうえで治療を受けるというプロセスが重要であることから、インフォームド・コンセントの徹底を図るほか、患者の様々な権利を尊重した医療を推進する。

また、多種多様な医療スタッフが、目的と情報を共有し、互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供するため、病棟への薬剤師の拡充を図る等、部門横断的なチーム医療を推進するほか、ICTを活用する等の院内感染防止対策や医療安全の取組みの強化を図る。

さらに、マイナンバーカードの健康保険証利用をはじめとした医療のデジタル化へ対応するとともに、デジタル化に当たっては、厚生労働省の医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、情報セキュリティ対策を徹底する。

(6) 経営の効率化

急速な少子高齢化の進行に伴う疾病構造の変化や医療技術の高度化・専門化、医療ニーズの多様化等、病院経営を取り巻く環境が大きく変化するなか、県立病院の役割及び機能を明確化し、圏域内の医療資源や医療需要等を踏まえ必要に応じて病床規模の最適化を図るほか、DPCデータ等を活用して効率的・標準的な治療内容を検討し、そこに限られた医療資源を集中し、経営効率を高めることで健全経営を図る。また、診療報酬の適切・確実な取得、未収金対策の強化、後発医薬品の適正使用、医薬品・診療材料の購入価格低廉化と適正使用等による財務基盤の強化も図る。

(7) 施設の老朽化対策

新居浜病院は建築後40年以上を経過し、漏電などによる診療機能の停止の恐れのほか、診療体制の効率性や患者サービスにも影響が出ていたことから、平成28年度に策定した整備基本計画に基づき、新診療棟の整備を進め、令和3年8月に新診療棟での診療を開始、令和5年2月に新診療棟前の駐車場及び敷地内バス停の使用を開始しグランドオープンとなった。

また、今治病院については、築後約40年が経過し建物本体の老朽化が進み、診療機能の制限や患者のアメニティ機能が低下していることから、令和3年度に今治病院の今後のあり方を検討するプロジェクトチームを設置し、将来の医療ニーズを精査した上で、今治病院に将来にわたって必要な診療機能を維持するために妥当な施設整備の方法を検討してきた。令和5年度は地元市町、医師会等を含む委員会を設置し、プロジェクトチームでの検討結果を基に協議、検討を行い、今治圏域の中核病院として、救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、災害医療等の政策医療を中心に機能強化を図り、今治市から提案のあった市有地を候補地として移転・新築する老朽化対策基本計画を策定した。令和6年度からは、必要な土地の調査や施設の詳細検討に着手する等、早期事業化を図り、スピード感をもって基本計画の具体化に取り組む。

(8) 一般会計負担の考え方

県立病院は、県の基幹拠点病院、地域の中核病院あるいは地域に根差した病院として、救急医療やへき地医療等の政策医療や不採算医療に取り組んでおり、今後も地域の医療提供体制を確保していくため、一層の取組強化が求められている。

これらの政策医療や不採算医療などに要する経費については、国から一般会計からの繰出基準が示されており、県立病院が担う役割・機能に応じて一般会計から適正な繰入措置を行った上で、健全経営の確保に努める。

4 各県立病院の目指すべき病院像

(1) 中央病院

高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターを併設し、三次救急、周産期、小児の高度救急医療、がん、脳神経疾患、心臓疾患等の高度急性期医療、骨髄移植等の質の高い医療や災害医療、感染症医療等を提供する県下の基幹病院、及び県下における医療人材育成に係る拠点病院。

(2) 今治病院

地域周産期母子医療センターを併設し、二次救急、周産期、小児の救急医療、脳血管疾患等の急性期医療や災害医療、感染症医療等を提供する今治圏域の中核病院。

(3) 南宇和病院

救急等の急性期医療から在宅医療（地域包括ケアシステム）の支援までを、他の県立病院との連携の下、5G等を活用した遠隔医療も導入し担うとともに、災害医療や感染症医療等を提供する愛南地域の中核病院。

(4) 新居浜病院

救命救急センター、地域周産期母子医療センターを併設し、東予地域の三次救急機能や東予東部の周産期医療、小児救急医療を担うとともに、脳神経疾患、心臓疾患等の急性期医療や災害医療、感染症医療等を提供する新居浜・西条圏域の中核病院。

5 各県立病院等の具体的な取組み

※各病院及び公営企業管理局が主体的に取り組む内容

(1) 県立中央病院

機能強化方策の方向性	具体的な取組み
1 政策的医療の強化	<p>(1) 救急医療体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三次救急医療の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・高度救命救急センターの運営 ・ドクターヘリを活用した救急医療の運営 ・小規模二次救急病院の後方支援 ②小児救急医療体制の維持 <p>(2) 周産期医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合周産期母子医療センターの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク妊産婦及び早産児に適切に対応するための地域周産期母子医療センター等との連携強化 <p>(3) 災害医療への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害基幹拠点病院としての強化 <ul style="list-style-type: none"> ・災害訓練の実施とBCPの実証可能性の検証及び改訂の検討 <p>(4) 感染症医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①感染症指定医療機関としての体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症患者の診療に適切に対応できる人材の育成・確保 ・病床等確保及び機器整備等の環境整備 <p>(5) その他政策的医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域がん診療連携拠点病院としての強化 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的、先進的ながん医療（がんゲノム等）の推進及びがん登録の充実 ②造血幹細胞移植推進拠点病院としての強化 <ul style="list-style-type: none"> ・移植コーディネーターの育成や、拠点病院セミナー開催等による医師、看護師等医療関係者の育成 ・移植医療を担う医療機関の連携調整 ③高度先進医療提供病院としての強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ダ・ヴィンチ（医療ロボット）手術適用領域の拡大 ・心臓疾患患者を対象とした経カテーテル大動脈弁植込み術（TAVI）及び経皮的僧帽弁クリップ術（マイトラクリップ）の実施 ・各種ナビゲーション手術の充実

<p>2 地域医療機関等との連携強化と役割分担</p>	<p>(1) 地域医療機関等との連携強化</p> <p>① 地域医療連携室の体制強化、地域医療機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療連携室スタッフの確保 ・ 連携先医療機関の訪問等による営業力強化 <p>② 地域医療機関に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療連携懇話会の開催及び動画配信 ・ 病院広報誌、診療科ガイド、地域連携便り等の発行 ・ ホームページの内容の充実 <p>(2) 地域医療機関等との役割分担</p> <p>① 平均在院日数の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携先医療機関への積極的な逆紹介の実施、患者への充実した入退院支援 <p>② 地域医療ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関間での医療機能の分担に係る広域ネットワークの強化 <p>③ 地域医療支援病院としての強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントレポートの分析・フィードバック等の医療安全体制の充実 ・ 医療機器等の共同利用及び地域の医療従事者向け教育体制の充実
<p>3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化</p>	<p>(1) 医師及び看護師等の確保</p> <p>① 採用機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや動画配信等による募集広告の充実 ・ 学生実習の受入強化及び学生に対するPRの推進 ・ 病院PRの強化 ・ 看護師の専門性の向上(認定看護師、専門看護師の資格取得促進) <p>② 臨床研修指定病院としての強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導医の育成及び研修環境の整備 <p>(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化</p> <p>① 育成機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種指導医の確保・養成等の指導体制の充実 ・ シミュレーター等の機器整備等による環境整備 ・ 各種研修機会の創出及び院内教育体制の見直し <p>② 職員満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業に係る各種支援制度の実施及び職場環境の整備等によるワークライフバランスの向上 ・ 情報共有体制の構築等による業務能率の向上 ・ 看護職員のやりがい度の向上に向けた取組みの検討・実施

<p>4 働き方改革への対応</p>	<p>(1) ワークライフバランスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 勤務時間の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 ・ 5日以上の年次有給休暇取得の徹底 <p>(2) タスクシフト・タスクシェアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護補助者の効果的な配置・活用 ・ 医師事務作業補助者の効果的な配置・活用 ・ チーム医療の推進 ・ 業務の効率化・省力化に向けた業務改善活動の積極的な推進 ・ 子育てと仕事の両立支援制度の実施 ・ ICT・IoTの積極的な活用 ② 看護師2交代制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師の意向調査等 ③ 医師の負担軽減に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 追加的健康確保措置の検討 ・ 副業・兼業を含めた労働時間の把握・管理体制の検討 ・ 医療機能の分化・連携による病院機能の見直しに伴う当直業務・診療体制等の医師業務の再整理 ・ 連携医療機関への積極的な逆紹介による外来診療への負担軽減
<p>5 医療の質の向上</p>	<p>(1) 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者高齢化への対応（認知症対策等） <p>(2) 医療の質の向上に係る方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 診療科内での治療方針の統一化 <ul style="list-style-type: none"> ・ クリニカルパスの充実による標準的かつ安全な医療の提供 ② 複数担当医、多職種協働によるチーム医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤師配置病棟の拡充 ③ 病院機能評価の取得（維持） ④ 院内感染防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染防止対策の強化 ⑤ 医療のデジタル化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発 ・ 急性期医療連携ネットワーク整備モデル事業（県事業）への参画 ⑥ サイバー攻撃に対する対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ BCPの策定と訓練の実施

<p>6 経営の効率化</p>	<p>(1) 集患力の強化</p> <p>① 手術部機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手術部スタッフの計画的確保と教育体制の確立 ・ 手術部関連資機材の標準化やセット化の推進 ・ 手術部の効率的運用の更なる推進 ・ 手術センターによる院内関係部署の連携の深化 <p>② 入院サポートセンターによる支援充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院から退院まで多職種が協働した医療サービスの提供 ・ クリニカルパスの充実 ・ 高回転の病床運用による効率的な経営及び業務の効率化による職員の負担軽減 ・ 入院サポートセンターの対象疾患の拡大 <p>③ 集中治療機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高侵襲の手術後や重篤な疾患患者への集学的治療の提供 ・ スーパー I C U（特定集中治療室管理料 2 を取得）としての運営体制の強化 ・ 集中治療センターによる院内関係部署の連携の深化 <p>(2) 経営基盤の強化</p> <p>① 組織・事業推進基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期計画の策定と実施、P D C A サイクルの構築 ・ 委員会組織の活性化、タスク管理 ・ 職員の病院経営への参画意識とコスト意識の醸成 ・ P F I 事業関係者等の病院帰属意識や経営参画意識の向上 <p>② 財務基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的な経営指標の選定等による病院経営の推進 ・ 適切な診療報酬請求事務の推進（診療科ミーティングの実施） ・ 施設基準の戦略的取得・管理 ・ 厚生労働省が施設基準で掲げた後発医薬品の最上位の使用率の維持 ・ 未収金対策の強化 ・ 施設維持管理コストの適正化（モニタリングの実施等）
-----------------	---

<p>7 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標</p>	<p>以下の項目について令和9年度までの達成を目指す</p> <p>(1) 医療機能にかかるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）7,434件 9年度（目標）8,058件以上 <p>(2) 医療の質に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス使用率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）47.3% 9年度（目標）55%以上 ・薬剤管理指導件数 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）7,763件 9年度（目標）8,000件以上 <p>(3) 連携の強化に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）76.8% 9年度（目標）80%以上 ・逆紹介率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）123.1% 9年度（目標）125%以上
----------------------------------	--

(2) 県立今治病院

機能強化方策の方向性	具体的な取組み
<p>1 政策的医療の強化</p>	<p>(1) 救急医療体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 救急医療体制の2. 5次救急の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師・スタッフの確保及び設備・医療機器等の整備 ・ ドクターヘリ等を活用した県立中央病院や愛媛大学医学部附属病院との連携強化 ② t-P Aホットライン体制の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 脳神経外科若手医師の確保 ③ ACSネットワーク体制の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 循環器内科若手医師の確保 ④ 小児の救急医療体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児救急日曜等輪番体制等への対応強化 <p>(2) 周産期医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域周産期母子医療センターの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師（産科医、新生児科医）等スタッフの確保及び関連医療機器の整備 ・ 総合周産期母子医療センターとの連携強化 <p>(3) 災害医療への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害拠点病院としての強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災時における地域連携体制の構築 <p>(4) 感染症医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新感染症への対応強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染制御チームを中心とした院内感染と感染症への対策の強化
<p>2 地域医療機関等との連携強化と役割分担</p>	<p>(1) 地域医療機関等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域医療連携室の体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口機能の強化 ・ 社会福祉士、精神保健福祉士等専門資格者の確保・育成、看護師等の資格取得支援 ② 地域医療機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携パスの活用促進 ③ 外科ネットワーク体制の構築に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外科若手医師の確保・維持 <p>(2) 地域医療機関等との役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域医療機関・福祉施設等への営業力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療機関・福祉施設等への訪問や情報発信 ② 地域包括ケア病棟の効率的な運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病棟とのベッドコントロール連携強化 ③ 県民や地域医療機関への情報発信力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 見やすく情報が入手しやすいホームページの作成、迅速な情報発信

<p>3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化</p>	<p>(1) 医師及び看護師等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 臨床研修等を通じた人材育成機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修体制の充実、研修環境の整備による臨床研修医の確保 ② 新たな専門医制度に向けた対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導医資格の積極的な取得 ・ 大学や地域の中核医療機関と連携した研修体制の構築に向けた検討 ③ 看護師の離職防止対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務環境や住環境の改善 <p>(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療職、事務職の専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定看護師・専門看護師の資格取得の促進 ・ リハビリテーション提供体制（実施回数、休日対応）の強化 ・ 地域包括ケア病棟への薬剤師配置等による薬剤業務の強化 ・ 事務局職員の経営分析能力、経営企画能力の強化 ・ 職員の病院経営への参画意識とコスト意識の醸成
<p>4 働き方改革への対応</p>	<p>(1) ワークライフバランスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 勤務時間の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 ・ 5日以上の年次有給休暇取得の徹底 ② 休暇取得促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の育児、介護、リフレッシュ休暇取得時の院内サポート体制の整備 ・ 計画的な休暇取得の推進 ・ 他職種連携による業務負担の軽減 <p>(2) タスクシフト・タスクシェアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護補助者の効果的な配置・活用 ・ 医師事務作業補助者の効果的な配置・活用 ・ 委員会等会議の見直し ・ 構成メンバー、開催時期の精査、会議時間の短縮、電子化 ・ ICTの活用等による負担軽減 ・ ワークライフバランス推進委員会等を通じた職員意見の反映 ② 看護師2交代制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師の意向調査等 ③ 医師の負担軽減に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ タスクシフト、タスクシェアの推進

<p>5 医療の質の向上</p>	<p>(1) 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療クオリティマネージャーの設置に向けた検討 ② 手厚い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・切れ目のないリハビリテーションの推進（休日のリハビリテーションの提供） ③ 患者の様々な権利の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームド・コンセントの徹底 ④ 医療スタッフの知識向上 <ul style="list-style-type: none"> ・専門資格職員の計画的養成、効率的な配置、キャリアデザインに応じた人材育成の推進 <p>(2) 医療の質の向上に係る方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 部門横断的なチーム医療の推進（多職種間の協働） <ul style="list-style-type: none"> ・病棟への薬剤師配置の拡充 ・看護部とリハビリテーション部の連携強化 ② より安全で信頼できる医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策や医療安全対策の取組み強化 ・感染制御部（ICT・AST）、医療安全管理部の活動強化 ③ 医療の標準化 <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの見直しと活用促進 ・患者のQOL向上に向けたベンチマークの活用による標準化 ④ 院内感染防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策の強化 ⑤ 医療のデジタル化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発 ⑥ サイバー攻撃に対する対策 <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定と訓練の実施
<p>6 経営の効率化</p>	<p>(1) 集患力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病棟の効率的な運営（再掲） <p>(2) 経営基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 病院機能に見合った医療資源の投入 <ul style="list-style-type: none"> ・DPC制度の適切な理解や運用を踏まえた標準的な医療の提供により診療単価のアップ ② 財務基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な診療報酬請求事務の推進 ・後発医薬品の使用拡大及び医薬品費比率の縮減 ・未収金対策の強化

<p>7 施設の老朽化対策</p>	<p>(1) 現病院の機能の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来院者に対する利便性・快適性の向上 ・ 安全性に配慮した設備・備品等の配置 ・ 患者からの意見、要望を踏まえた施設修繕 ・ 感染症対策のための患者導線確保のための修繕 <p>(2) 病院の今後のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年11月に老朽化対策基本計画を策定し、今治圏域の中核病院として病院の機能強化を図る整備方針（移転新築）を取りまとめ <p>(3) 移転新築の早期事業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化対策基本計画に基づき、移転新築に向けた調査、整備に着手
<p>8 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標</p>	<p>以下の項目について令和9年度までの達成を目指す</p> <p>(1) 医療機能にかかもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手術件数 4年度（実績）1,722件 9年度（目標）1,850件以上 <p>(2) 医療の質に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリニカルパス使用率 4年度（実績）38.1% 9年度（目標）43%以上 ・ 薬剤管理指導件数 4年度（実績）1,646件 9年度（目標）2,000件以上 <p>(3) 連携の強化に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介率 4年度（実績）50.2% 9年度（目標）57%以上 ・ 逆紹介率 4年度（実績）41.7% 9年度（目標）48%以上

(3) 県立南宇和病院

機能強化方策の方向性	具体的な取組み
<p>1 政策的医療の強化</p>	<p>(1) 救急医療体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 24 時間救急医療体制の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続した医師確保及び地元医師会等による応援体制の維持 ・ ドクターヘリを活用した救急医療体制の強化 <p>(2) 災害医療への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害医療 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な防災訓練の実施 <p>(3) 感染症医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 愛南地域の感染症患者対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療機関との連携による体制確保
<p>2 地域医療機関等との連携強化と役割分担</p>	<p>(1) 地域医療機関等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高度急性期病院等との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元患者の受入病院（後方ベットの役割）としての機能強化 ・ 地域がん診療連携拠点病院等との連携強化による地元がん患者の負担軽減 ・ 病院機能分担の促進 ② 地元医師会及び地域医療機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立宇和島病院の「きさいやネット」の活用 ・ 地元医師会との学習会の開催等による情報交換の促進 ・ 地元医師会との連携強化による空床利用の促進や検査支援 <p>(2) 地域医療機関等との役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域包括ケアシステムの構築等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護施設との連携強化 ・ 訪問看護ステーション等との連携 ・ 社会福祉士、精神保健福祉士等専門資格者の確保 ・ 糖尿病悪化予防ケアの強化 ・ 薬剤部と開局薬剤師との連携機能の強化 ② 地域包括ケア病床の効率的な運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア病床の内科系疾患患者への適用拡大 ・ 特色ある運営方法の検討 ③ 地域医療連携と役割分担の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 G等の新たな情報通信技術を活用した遠隔医療の導入・拡充

<p>3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化</p>	<p>(1) 医師及び看護師等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人材の確保と育成の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムに必要不可欠な総合診療医の確保に向けた研修拠点化の推進 ② 4 病院の連携促進等による機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央病院からの医師支援体制の充実 ・ 5 G等の新たな情報通信技術を活用した遠隔医療の導入による他病院からの医療支援体制の確立 ③ 看護師の離職防止対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児中の看護師支援策の検討 <p>(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療職、事務職の専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅療養支援の強化等に向けた看護師の育成 ・ 病棟薬剤師、外来薬剤師の育成強化 ・ キャリアアップ支援策、資格取得支援策の検討 ② 愛南町や地元医師会と連携した医師確保
<p>4 働き方改革への対応</p>	<p>(1) ワークライフバランスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 ・ 5 日以上の子次有給休暇取得の徹底 ・ 5 G等の新たな情報通信技術を用いた業務の効率化による負担軽減 <p>(2) タスクシフト・タスクシェアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護補助者の効果的な配置・活用 ・ 医師事務作業補助者の効果的な配置・活用 ・ 他職種連携による業務負担の軽減 ② 看護師 2 交代制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師の意向調査等
<p>5 医療の質の向上</p>	<p>(1) 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療安全への取組みの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ インフォームド・コンセントの徹底 ・ 院内感染防止対策の徹底 ② 医療スタッフの知識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門医や指導医資格の計画的な養成 ・ 認定看護師、専門看護師の計画的養成 <p>(2) 医療の質の向上に係る方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療の質の標準化 <ul style="list-style-type: none"> ・ クリニカルパスの見直し ② 部門横断的なチーム医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟への薬剤師配置の拡充

	<ul style="list-style-type: none"> ③院内感染防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策の強化 ④医療のデジタル化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発 ⑤サイバー攻撃に対する対策 <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定と訓練の実施
6 経営の効率化	<p>(1)集患力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域包括ケア病床の効率的な運営（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床の内科系疾患患者への適用拡大 ・特色のある運営方法の検討 <p>(2)経営基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①財務基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な診療報酬請求事務の推進 ・後発医薬品の使用拡大 ・未収金対策の強化 ②医師の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・愛南町や地元医師会と連携した医師確保
7 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	<p>以下の項目について令和9年度までの達成を目指す</p> <p>(1)医療機能にかかるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）319件 9年度（目標）350件以上 <p>(2)医療の質に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス使用率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）9.5% 9年度（目標）12%以上 ・薬剤管理指導件数 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）319件 9年度（目標）350件以上 <p>(3)連携の強化に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）9.7% 9年度（目標）10%以上 ・逆紹介率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）35.1% 9年度（目標）36%以上

(4) 県立新居浜病院

機能強化方策の方向性	具体的な取組み
<p>1 政策的医療の強化</p>	<p>(1) 救急医療体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 三次救急医療の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急科医師の確保による三次救急機能の確保 ・ ハイブリッド初療室の整備による救命処置の高度化 ・ 屋上ヘリポート活用によるドクターヘリの活用拡大 ・ 開心術の再開による救命処置の迅速化 ・ 緊急手術への対応機能の維持 ・ 東予地域メディカルコントロール協議会の主宰と連携強化 ② 小児救急医療体制の維持 <p>(2) 周産期医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域周産期母子医療センターの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療スタッフ確保による周産期医療の継続的な提供 ・ 総合周産期母子医療センターとの連携強化 <p>(3) 災害医療への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害拠点病院としての強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つのヘリポート（屋上・地上ヘリポート）活用による災害時の患者・物資等輸送体制の強化 ・ 災害時診療情報バックアップの実施 ・ 建替えに伴う耐災害性の向上（免震構造、ライフライン確保体制の強化等） <p>(4) 感染症医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 感染症医療機能の確保・維持 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症を含む感染症医療機能の確保・維持 ・ 院内感染制御チームの活動強化 ・ 常勤医師が不在となっている呼吸器内科医の確保
<p>2 地域医療機関等との連携強化と役割分担</p>	<p>(1) 地域医療機関等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域医療連携室の体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口機能の強化 ・ 入院前支援の強化 ・ 社会福祉士、精神保健福祉士等の専門資格者の確保・育成 ・ 連携データの分析力の強化 ② 地域の医療機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関との研修会等の充実 ・ 地域住民を対象とした公開セミナー等の開催 ・ 自院スタッフの地域研修会やカンファレンスへの参加促進

	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく情報が入手しやすいホームページの作成、迅速な情報発信 ③新居浜市救急ワークステーション設置による新居浜市消防本部との連携強化 ・救急救命士の再教育等研修体制の強化 ・緊急時における救急車への医師同乗による救命率の向上 <p>(3) 地域医療機関等との役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関・介護福祉施設等への営業力強化 ・連携データ分析による効率的な訪問の実施 ・逆紹介の推進による地域医療機関との役割分担と新規紹介患者の獲得
<p>3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化</p>	<p>(1) 医師及び看護師等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医師確保に向けた大学訪問強化 ②臨床研修等を通じた人材育成機能の強化と人材確保に向けた体制・環境づくり ・研修体制の充実・研修環境の整備による臨床研修医の確保 ③夜勤体制の確保 ・夜勤が可能となる体制の確保 (夜勤専門看護師の配置検討) ・院内保育所の維持 <p>(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新たな専門医制度に向けた対策の強化 ・大学と連携した医師研修体制の確保 ・地域の中核病院同士の医師相互研修 ・指導医資格の積極的な取得 ②開心術の再開に伴う臨床工学技士の確保・育成 ③看護師の離職防止対策の強化 ・働きやすい病院づくり、魅力ある病院づくりの推進 ④医療職、事務職の専門性の向上 ・脳卒中患者・外傷患者等に対する急性期リハビリテーション提供体制の強化 ・計画的な認定看護師等の養成 ・事務職員の経営分析能力、経営企画能力の強化 ・職員の病院経営への参画意識とコスト意識の醸成
<p>4 働き方改革への対応</p>	<p>(1) ワークライフバランスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①勤務時間の縮減 ・超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 ・5日以上の子次有給休暇取得の徹底

	<p>②夜勤負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜勤専門看護師・看護助手の配置等による負担軽減の検討 ・院内保育所の拡充等の検討 <p>(2)タスクシフト・タスクシェアの推進</p> <p>①業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の効果的な配置・活用 ・医師事務作業補助者の効果的な配置・活用 <p>②看護師2交代制の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師の意向調査等 <p>③各種会議の見直し・電子化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議の合理化と業務の電子化推進 <p>④病棟薬剤管理指導業務の強化による看護師業務負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師による病棟薬剤管理指導業務の実施
<p>5 医療の質の向上</p>	<p>(1)職員の資質向上</p> <p>①医療安全への取組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームド・コンセントの徹底 <p>②医療スタッフの知識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門医や指導医資格の計画的な養成 ・認定看護師、専門看護師の計画的養成 <p>(2)医療の質の向上に係る方策</p> <p>①医療の質の標準化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPCデータを活用した標準的かつ安全な医療の提供 <p>②部門横断的なチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟への薬剤師配置の拡充 <p>③病院機能評価の取得</p> <p>④院内感染防止対策の実践・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策で培った院内感染防止対策の実践・強化 <p>⑤医療のデジタル化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発 ・急性期医療連携ネットワーク整備モデル事業（県事業）への参画 <p>⑥サイバー攻撃に対する対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定と訓練の実施

<p>6 経営の効率化</p>	<p>(1)集患力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新規入院患者確保に向けた仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・開心術再開に伴う手術件数の増加による診療単価のアップ ②地域包括ケア病棟の適切な運用による診療単価のアップ ③新病院開院に伴う集患力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・新病院の魅力を発信する広報の充実 ・自動精算機導入などによる患者の利便性の向上 ・入院環境の充実による入院患者の快適性の向上 <p>(2)経営基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①経営戦略プラン実行体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・自院と地域の医療機関の分析による経営戦略プラン実行体制の確立 ・DPCデータや病床機能報告データなどの公開データの分析能力の強化 ・DPC制度の適切な理解や運用を踏まえた標準的な医療の提供による診療単価のアップ ②財務基盤の強化・維持 <ul style="list-style-type: none"> ・適時適切な施設基準の見直しによる収益の確保 ・診療報酬制度やDPC制度を正しく理解した積極的な指導等の実施と漏れのない診療報酬請求の徹底 ・レセプトチェックの強化による査定率の低下 ・経営企画専従職員の配置による経営データ分析能力と企画提案力の向上 ・後発医薬品への移行促進による薬品費の削減 ・ベンチマーク分析を活用した診療材料の購入価格交渉による材料費の削減 ・未収金発生防止と未収金回収の強化
<p>7 施設の老朽化対策</p>	<p>(1)令和4年度末までに新居浜病院建替事業を完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新診療棟での診療開始 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月の新診療棟診療開始に向けた適切な工事執行・病院機能移転 ②新居浜病院建替事業の完了 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末までの現本院解体、外構・駐車場工事の完了

<p>8 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標</p>	<p>以下の項目について令和9年度までの達成を目指す</p> <p>(1) 医療機能にかかるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）1,620件 9年度（目標）1,800件以上 <p>(2) 医療の質に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス使用率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）23.5% 9年度（目標）44%以上 ・薬剤管理指導件数 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）1,638件 9年度（目標）2,050件以上 <p>(3) 連携の強化に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）53.9% 9年度（目標）55%以上 ・逆紹介率 <ul style="list-style-type: none"> 4年度（実績）29.2% 9年度（目標）30%以上
----------------------------------	--

(5) 公営企業管理局

機能強化の方向性	具体的な取組み
<p>1 政策的医療の強化</p>	<p>(1) 救急医療体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリ等を活用した中央病院を核とした救急医療体制の確保 <p>(2) 周産期医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターを中心とした周産期医療の連携強化 <p>(3) 感染症医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な職種、人員の確保
<p>2 地域医療機関等との連携強化と役割分担</p>	<p>(1) 地域医療機関等との連携強化</p> <p>①医療情報システムの計画的な導入・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新居浜病院への統一した電子カルテベンダーの導入 ・南宇和病院への遠隔医療の導入 ・次期電子カルテシステムの検討・更新
<p>3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化</p>	<p>(1) 医師及び看護師等の確保</p> <p>①医師派遣大学との連携強化等による医師確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営企業管理局、4 県立病院長が連携し、地元大学等への医師派遣を要請 ・地域枠、自治医大卒業生の確保に向けた対応 ・県外の派遣大学に対する医師派遣要請 ・ドクターバンク等の活用による公募医師の確保 <p>②4 病院間の医師応援体制の確保</p> <p>(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化</p> <p>①医師の確保・育成や職場環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立中央病院を中心とした4 病院での若手医師の確保・育成 ・4 病院間の診療応援体制の充実 ・女性医師の就労支援体制づくり <p>②臨床研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な研修プログラム作成による研修医の確保 ・都市部在住の県内出身医学生へのPRによる医師確保 <p>③新たな専門医制度に向けた対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本領域に対する施設認定や受入準備等研修体制の整備及び運用 ・サブスペシャリティ領域に対応する施設認定や受入準備等研修体制の整備及び運用 ・資格取得促進による指導医の確保 ・4 病院が連携した研修施設群の構築

	<ul style="list-style-type: none"> ④看護師の離職防止対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・各種看護師研修の充実（新規採用看護職員研修、新卒リフレッシュ研修、中堅看護師研修等） ・看護師の業務分担再整理による負担軽減等（2交代制の検討等） ・ ⑤医療職、事務職等の専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・病院職員の専門性の向上 ・医療職の専門資格の取得促進 ・計画的な認定看護師、専門看護師等の資格取得の促進 ・専門性の高い中央病院職員との人事交流の促進 ・病院経営への参画意識とコスト意識の醸成
<p>4 働き方改革への対応</p>	<p>(1) ワークライフバランスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①勤務時間の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 ・5日以上の年次有給休暇取得の徹底 <p>(2) タスクシフト・タスクシェアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の確保・活用 ・医師事務作業補助者の確保・活用 ・ICTの活用等による負担軽減 ②看護師2交代制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師の意向調査等 ③各種会議の見直し・電子化 <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議のスクラップアンドビルドと電子化 ④医師の負担軽減に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・医師労働時間短縮対策の支援 ・勤務間インターバル、連続勤務制限等の導入検討 ⑤看護師の負担軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師2交代制の検討（再掲） ・看護師の満足度向上 ・定員の適正化と必要な人員の確保
<p>5 医療の質の向上</p>	<p>(1) 職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医療安全への取組みの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全研修会の実施 <p>(2) 医療の質の向上に係る方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟への薬剤師配置の拡充

<p>6 経営の効率化</p>	<p>(1)集患力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①患者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的・効果的な患者アンケート調査の実施と対策等の検討 <p>(2)経営基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①DPCデータ等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチマーク分析による効率的な経営の推進 ・後発医薬品の使用拡大 ②適切な診療報酬の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬改定への適切な対応 ③未収金対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・少額訴訟による未収金の回収等 ④施設の計画的な管理 <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えた施設維持管理計画の策定 ⑤医療機器等の計画的な整備 <ul style="list-style-type: none"> ・高額医療機器の計画的な整備 ・県立病院間の機器統一化や保守一元化、診療材料等の共同調達に係るコスト削減 ⑥地域医療構想との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・各圏域内の医療需要等を踏まえた診療機能や病床数等の検討 ・地域医療・介護総合確保基金の活用
<p>7 施設の老朽化対策 (再掲)</p>	<p>(1)令和4年度末までに新居浜病院建替事業を完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新診療棟での診療開始 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月の新診療棟診療開始に向けた適切な工事執行・病院機能移転 ②新居浜病院建替事業の完了 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末までの現本院解体、外構・駐車場工事の完了 <p>(2)病院の今後のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月に老朽化対策基本計画を策定し、今治圏域の中核病院として病院の機能強化を図る整備方針（移転新築）を取りまとめ <p>(3)移転新築の早期事業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化対策基本計画に基づき、移転新築に向けた調査、整備に着手

(6) 具体的な取組みの実施計画

○中央病院

機能強化方策	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1 政策的医療の強化							
(1) 救急医療体制の強化							
三次救急医療の実施	高度救命救急センターの運営 ドクターヘリを活用した救急医療体制の運営 小規模二次救急病院の後方支援						
	小児救急医療体制の維持						
(2) 周産期医療の強化							
総合周産期母子医療センターの強化	ハイリスク妊産婦及び早産児に適切に対応するための地域周産期母子医療センター等との連携強化						
(3) 災害医療への対応							
災害基幹拠点病院としての強化	災害訓練の実施とBCPの実証可能性の検証及び改訂の検討						
(4) 感染症医療の強化							
感染症指定医療機関としての体制強化	感染症患者の診療に適切に対応できる人材の育成・確保 病床等確保及び機器整備等の環境整備						
(5) その他政策的医療の強化							
地域がん診療連携拠点病院としての強化	専門的、先進的ながん医療(がんゲノム等)の推進及びがん登録の充実						
造血幹細胞移植推進拠点病院としての強化	移植コーディネーターの育成や、拠点病院セミナー開催等による医師、看護師等医療関係者の育成 移植医療を担う医療機関の連携調整						
高度先進医療提供病院としての強化	ダ・ヴィンチ(医療ロボット)手術適用領域の拡大 心臓疾患患者を対象とした経カテーテル大動脈弁植込み術(TAVI)及び経皮的僧帽弁クリップ術(マイトラクリップ)の実施 各種ナビゲーション手術の充実						
2 地域医療機関等との連携強化と役割分担							
(1) 地域医療機関等との連携強化							
地域医療連携室の体制強化・地域医療機関との連携強化	地域医療連携室スタッフの確保 連携先医療機関の訪問等による営業力強化						
地域医療機関に向けた情報発信	地域医療連携懇話会の開催及び動画配信 病院広報誌、診療科ガイド、地域連携便り等の発行 ホームページの内容の充実						
(2) 地域医療機関等との役割分担							
平均在院日数の適正化	連携先医療機関への積極的な逆紹介の実施、患者への充実した入退院支援						
地域医療ネットワークの構築	地域の医療機関間での医療機能の分担に係る広域ネットワークの強化						
地域医療支援病院としての強化	インシデントレポートの分析・フィードバック等の医療安全体制の充実 医療機器等の共同利用及び地域の医療従事者向け教育体制の充実						

機能強化方策	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化							
(1) 医師及び看護師等の確保							
採用機会の拡充							
	ホームページや動画配信等による募集広告の充実 学生実習の受入強化及び学生に対するPRの推進 病院PRの強化 看護師の専門性の向上(認定看護師、専門看護師の資格取得促進)						
臨床研修指定病院としての強化							
	指導医の育成及び研修環境の整備						
(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化							
育成機能の強化							
	各種指導医の確保・養成等の指導体制の充実 シミュレーター等の機器整備等による環境整備 各種研修機会の創出及び院内教育体制の見直し						
職員満足度の向上							
	就業に係る各種支援制度の実施及び職場環境の整備等によるワークライフバランスの向上 情報共有体制の構築等による業務効率の向上 看護職員のやりがい度の向上に向けた取組みの検討・実施						
4 働き方改革への対応							
(1) ワークライフバランスの推進							
勤務時間の短縮							
	超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 5日以上の年次有給休暇取得の徹底						
(2) タスクシフト・タスクシェアの推進							
業務効率の向上							
	看護補助者の効果的な配置・活用 医師事務作業補助者の効果的な配置・活用 チーム医療の推進 業務の効率化・省力化に向けた業務改善活動の積極的な推進 子育てと仕事の両立支援制度の実施 ICT・IoTの積極的な活用						
看護師2交代制の検討							
	看護師の意向調査等						
医師の負担軽減に向けた取組み							
	追加的健康確保措置の検討 副業・兼業を含めた労働時間の把握・管理体制の検討 医療機能の分化・連携による病院機能の見直しに伴う当直業務・診療体制等の医師業務の再整理 連携医療機関への積極的な逆紹介による外来診療への負担軽減						
5 医療の質の向上							
(1) 職員の資質向上							
職員の資質向上							
	患者高齢化への対応(認知症対策等)						
(2) 医療の質の向上に係る方策							
診療科内での治療方針の統一化							
	クリニカルパスの充実による標準的かつ安全な医療の提供						

機能強化方策		年度別実施計画内容						
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	複数担当医、多職種協働によるチーム医療の推進							
		薬剤師配置病棟の拡充						
	病院機能評価の取得(維持)							
		病院機能評価の取得(維持)						
	院内感染防止対策							
		院内感染防止対策の強化						
医療のデジタル化への対応								
	マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発 急性期医療連携ネットワーク整備モデル事業(県事業)への参画							
サイバー攻撃に対する対策								
	BCPの策定と訓練の実施							
6 経営の効率化								
(1)集患力の強化								
	手術部機能の強化							
		手術部スタッフの計画的確保と教育体制の確立 手術部関連資機材の標準化やセット化の推進 手術部の効率的運用の更なる推進 手術センターによる院内関係部署の連携の深化						
		入院から退院まで多職種が協働した医療サービスの提供 クリニカルパスの充実 高回転の病床運用による効率的な経営及び業務の効率化による職員の負担軽減 入院サポートセンターの対象疾患の拡大						
	集中治療機能の強化							
		高侵襲の手術後や重篤な疾患患者への集学的治療の提供 スーパーICU(特定集中治療室管理料2を取得)としての運営体制の強化 集中治療センターによる院内関係部署の連携の深化						
(2)経営基盤の強化								
	組織・事業推進基盤の強化							
		中長期計画の策定と実施、PDCAサイクルの構築 委員会組織の活性化、タスク管理 職員の病院経営への参画意識とコスト意識の醸成 PFI事業関係者等の病院帰属意識や経営参画意識の向上						
		効率的な経営指標の選定等による病院経営の推進 適切な診療報酬請求事務の推進(診療科ミーティングの実施) 施設基準の戦略的取得・管理 厚生労働省が施設基準で掲げた後発医薬品の最上位の使用率の維持 未収金対策の強化 施設維持管理コストの適正化(モニタリングの実施等)						

○今治病院

機能強化方策	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1 政策的医療の強化							
(1)救急医療体制の強化							
救急医療体制の2. 5次救急の維持							
	医師・スタッフの確保及び設備・医療機器等の整備 ドクターヘリ等を活用した県立中央病院や愛媛大学医学部附属病院との連携強化						
t-PAホットライン体制の充実・強化							
	脳神経外科若手医師の確保						
ACSネットワーク体制の充実・強化							
	循環器内科若手医師の確保						
小児の救急医療体制の強化							
	小児救急日曜等輪番体制等への対応強化						
(2)周産期医療の強化							
地域周産期母子医療センターの強化							
	医師(産科医・新生児科医)等スタッフの確保及び関連医療機器の整備 総合周産期母子医療センターとの連携強化						
(3)災害医療への対応							
災害拠点病院としての強化							
	被災時における地域連携体制の構築						
(4)感染症医療の強化							
新感染症への対応強化							
	感染制御部(ICT・AST)を中心とした院内感染と感染症への対策の強化						
2 地域医療機関等との連携強化と役割分担							
(1)地域医療機関等との連携強化							
地域医療連携室の体制強化							
	社会福祉士、精神保健福祉士等専門資格者の確保・育成、看護師等の資格取得支援 相談窓口機能の強化						
地域医療機関との連携強化							
	地域連携バスの活用促進						
外科ネットワーク体制の構築に向けた検討							
	外科若手医師の確保・維持						
(2)地域医療機関等との役割分担							
地域医療機関・福祉施設等への営業力強化							
	地域医療機関・福祉施設等への訪問や情報発信						
地域包括ケア病棟の効率的な運営							
	一般病棟とのベッドコントロール連携強化						
県民や地域医療機関への情報発信力強化地域包括ケア病棟の効率的な運営							
	見やすく情報が入手しやすいホームページの作成、迅速な情報発信						
3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化							
(1)医師及び看護師等の確保							
臨床研修等を通じた人材育成機能の強化							
	研修体制の充実、研修環境の整備による臨床研修医の確保						
新たな専門医制度に向けた対策の強化							
	指導医資格の積極的な取得 大学や地域の中核医療機関と連携した研修体制の構築に向けた検討						

機能強化方策		年度別実施計画内容						
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	看護師の離職防止対策の強化							
		勤務環境や住環境の改善						
(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化								
	医療職、事務職の専門性の向上							
		認定看護師・専門看護師の資格取得の促進 リハビリテーション提供体制(実施回数、休日対応)の強化 地域包括ケア病棟への薬剤師配置等による薬剤業務の強化 事務局の経営分析能力、経営企画能力の強化 職員の本院経営への参画意識とコスト意識の醸成						
4 働き方改革への対応								
(1) ワークライフバランスの推進								
	勤務時間の短縮							
		超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 5日以上有給休暇取得の徹底						
	休暇取得促進							
		職員の育児、介護、リフレッシュ休暇取得時の院内サポート体制の整備 計画的な休暇取得の推進 他職種連携による業務負担の軽減						
(2) タスクシフト・タスクシェアの推進								
	業務の効率化							
		看護補助者の効果的な配置・活用 医師事務作業補助者の効果的な配置・活用 委員会等会議の見直し 構成メンバー、開催時期の精査、会議時間の短縮、電子化 ICTの活用等による負担軽減 ワークライフバランス推進委員会等を通じた職員意見の反映						
	看護師2交代制の検討							
	医師の負担軽減に向けた取り組みの推進							
		タスクシフト(業務の移管)、タスクシェア(業務の共同化、複数主治医制)の推進						
5 医療の質の向上								
(1) 職員の資質向上								
	医療クオリティマネージャーの設置に向けた検討							
		医療クオリティマネージャーの設置に向けた検討						
	手厚い医療の提供							
		切れ目のないリハビリテーションの推進(休日のリハビリテーションの提供)						
	患者の様々な権利の確保							
		インフォームド・コンセントの徹底						
	医療スタッフの知識向上							
		専門資格職員の計画的養成、効果的な配置、キャリアデザインに応じた人材育成の推進						
(2) 医療の質の向上に係る方策								
	部門横断的なチーム医療の推進(多職種間の協働)							
		病棟への薬剤師配置の拡充 看護部とリハビリテーション部の連携強化						

機能強化方策		年度別実施計画内容						
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	より安全で信頼できる医療の提供							→
		院内感染防止対策や医療安全対策の取り組み強化 感染制御部 (ICT・AST)、医療安全管理部の活動強化						
	医療の標準化							→
		クリニカルパスの見直しと活用促進 患者のQOL向上に向けたベンチマークの活用による標準化						
	院内感染防止対策							→
		院内感染防止対策の強化						
医療のデジタル化への対応							→	
	マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発							
サイバー攻撃に対する対策							→	
	サイバー攻撃に対応したBCPの策定と訓練の実施							
6 経営の効率化								
(1) 集患力の強化								
	集患力の強化							→
		地域包括ケア病棟の効率的な運営(再掲)						
(2) 経営基盤の強化								
	病院機能に見合った医療資源の投入							→
		DPC制度の適切な理解や運用を踏まえた標準的な医療の提供により診療単価のアップ						
	財務基盤の強化							→
		適切な診療報酬請求事務の推進 後発医薬品の使用拡大及び医薬品費比率の縮減 未収金対策の強化						
7 施設の老朽化対策								
(1) 現病院の機能の維持								
	現病院の機能の維持							→
		来院者に対する利便性・快適性の向上 安全性に配慮した設備・備品等の配置 患者からの意見、要望を踏まえた施設修繕 感染症対策のための患者導線確保のための修繕						
(2) 病院の今後のあり方の検討								
	病院の今後のあり方の検討							→
		将来の圏域の医療ニーズを精査 診療機能を維持するために妥当な施設整備の方法の具体的検討 老朽化対策基本計画の策定						
(3) 移転新築の早期事業化								
	移転新築の早期事業化							→
		老朽化対策基本計画に基づいた調査、設計、施工						

○南宇和病院

機能強化方策	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1 政策的医療の強化							
(1)救急医療体制の強化							
24時間救急医療体制の維持							
	継続した医師確保及び地元医師会等による応援体制の維持 ドクターヘリを活用した救急医療体制の強化						
(2)災害医療への対応							
災害医療							
	定期的な防災訓練の実施						
(3)感染症医療の強化							
愛南地域の感染症患者対応							
	地域医療機関との連携による体制確保						
2 地域医療機関等との連携強化と役割分担							
(1)地域医療機関等との連携強化							
高度急性期病院等との連携強化							
	地元患者の受入病院(後方ベツ的役割)としての機能強化 地域がん診療連携拠点病院等との連携強化による地元がん患者の負担軽減 病院機能分担の促進						
地元医師会及び地域医療機関との連携強化							
	市立宇和島病院の「きさいやネット」への活用 地元医師会との学習会の開催等による情報交換の促進 地元医師会との連携強化による空床利用の促進や検査支援						
(2)地域医療機関等との役割分担							
地域包括ケアシステムの構築等							
	介護施設との連携強化 訪問看護ステーション等との連携 社会福祉士、精神保健福祉士等専門資格者の確保 糖尿病悪化予防ケアの強化 薬剤部と開局薬剤師との連携機能の強化						
地域包括ケア病床の効率的な運営							
	地域包括ケア病床の内科系疾患患者への適用拡大 特色ある運営方法の検討						
地域医療連携と役割分担の推進							
	5G等の新たな情報通信技術を活用した遠隔医療の導入						
3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化							
(1)医師及び看護師等の確保							
人材の確保と育成の強化							
	地域包括ケアシステムに必要な不可欠な総合診療医(指導医)の確保に向けた研修拠点化の推進						
4病院の連携促進等による機能強化							
	中央病院からの医師支援体制の確立 5G等の新たな情報通信技術を活用した遠隔医療の導入による他病院からの医療支援体制の確立						
看護師の離職防止対策の強化							
	育児中の看護師支援策の検討						

機能強化方策	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化							
医療職、事務職の専門性の向上							
	在宅療養支援の強化等に向けた看護師の育成 病棟薬剤師・外来薬剤師の育成強化 キャリアアップ支援策、資格取得支援策の検討						
愛南町医師会と連携した医師確保							
	愛南町や地元医師会と連携した医師確保						
4 働き方改革への対応							
(1) ワークライフバランスの推進							
ワークライフバランスの推進							
	超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 5日以上の年次有給休暇取得の徹底 5G等の新たな情報通信技術を用いた業務の効率化による負担軽減						
(2) タスクシフト・タスクシェアの推進							
業務の効率化							
	看護補助者の効果的な配置・活用 医師事務作業補助者の効果的な配置・活用 他職種連携による業務負担の軽減						
看護師2交代制の検討							
	看護師の意向調査等						
5 医療の質の向上							
(1) 職員の資質向上							
医療安全への取組みの強化							
	インフォームド・コンセントの徹底 院内感染防止対策の徹底						
医療スタッフの知識の向上							
	専門医や指導医資格の計画的な養成 認定看護師、専門看護師の計画的養成						
(2) 医療の質の向上に係る方策							
医療の質の標準化							
	クリニカルパスの見直し						
部門横断的なチーム医療の推進							
	病棟への薬剤師配置の拡充						
院内感染防止対策							
	院内感染防止対策の強化						
医療のデジタル化への対応							
	マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発						
サイバー攻撃に対する対策							
	サイバー攻撃に対応したBCPの策定と訓練の実施						
6 経営の効率化							
(1) 集患力の強化							
地域包括ケア病床の効率的な運営(再掲)							
	地域包括ケア病床の内科系疾患患者への適用拡大 特色のある運営方法の検討						
(2) 経営基盤の強化							
財務基盤の強化							
	適切な診療報酬請求事務の推進 後発医薬品の使用拡大 未収金対策の強化						
医師の確保							
	愛南町や地元医師会と連携した医師確保						

○新居浜病院

機能強化方策	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1 政策的医療の強化							
(1)救急医療体制の強化							
三次救急医療の強化							
小児救急医療体制の維持							
(2)周産期医療の強化							
地域周産期母子医療センターの強化							
(3)災害医療への対応							
災害拠点病院としての強化							
(4)感染症医療の強化							
感染症医療機能の確保・維持							
2 地域医療機関等との連携強化と役割分担							
(1)地域医療機関等との連携強化							
地域医療連携室の体制強化							
地域の医療機関との連携強化							
新居浜市救急ワークステーション設置による新居浜市消防本部との連携強化							
(2)地域医療機関等との役割分担							
地域医療機関等との役割分担							

機能強化方策	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化							
(1) 医師及び看護師等の確保							
医師確保に向けた大学訪問強化							
	医師確保に向けた大学訪問強化						
臨床研修等を通じた人材育成機能の強化と人材確保に向けた体制・環境づくり							
	研修体制の充実・研修環境の整備による臨床研修医の確保						
夜勤体制の確保							
	夜勤が可能となる体制の確保(夜勤専門看護師の配置検討) 院内保育所の維持						
(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化							
新たな専門医制度に向けた対策の強化							
	大学と連携した医師研修体制の確保 地域の中核病院同士の医師相互研修 指導医資格の積極的な取得						
開心術の再開に伴う臨床工学技士の確保・育成							
	開心術の再開に伴う臨床工学技士の確保・育成						
看護師の離職防止対策の強化							
	働きやすい病院づくり、魅力ある病院づくりの推進						
医療職、事務職の専門性の向上							
	脳卒中患者・外傷患者等に対する急性期リハビリテーション提供体制の強化 計画的な認定看護師等の養成 事務局の経営分析能力、経営企画能力の強化 職員の病院経営への参画意識とコスト意識の醸成						
4 働き方改革への対応							
(1) ワークライフバランスの推進							
勤務時間の縮減							
	超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 5日以上の年次有給休暇取得の徹底						
夜勤負担の軽減							
	夜勤専門看護師・看護助手の配置等による負担軽減の検討 院内保育所の拡充等の検討						
(2) タスクシフト・タスクシェアの推進							
業務の効率化							
	看護補助者の効果的な配置・活用 医師事務作業補助者の効果的な配置・活用						
看護師2交代制の検討							
	看護師の意向調査等						
各種会議の見直し・電子化							
	各種会議の合理化と業務の電子化推進						
病棟薬剤管理指導業務の強化による看護師業務負担の軽減							
	薬剤師による病棟薬剤管理指導業務の実施						

機能強化方針	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
5 医療の質の向上							
(1) 職員の資質向上							
医療安全への取組みの強化							
	インフォームド・コンセントの徹底						
医療スタッフの知識の向上							
	専門医や指導医資格の計画的な養成 認定看護師、専門看護師の計画的養成						
(2) 医療の質の向上に係る方策							
医療の質の標準化							
	DPCデータを活用した標準的かつ安全な医療の提供						
部門横断的なチーム医療の推進							
	病棟への薬剤師配置の拡充						
病院機能評価の取得							
	病院機能評価の取得						
院内感染防止対策の実践・強化							
	新型コロナウイルス感染症対策で培った院内感染防止対策の実践・強化						
医療のデジタル化への対応							
	マイナンバーカードの健康保険証利用の普及啓発 急性期医療連携ネットワーク整備モデル事業(県事業)への参画						
サイバー攻撃に対する対策							
	サイバー攻撃に対応したBCPの策定と訓練の実施						
6 経営の効率化							
(1) 集患力の強化							
新規入院患者確保に向けた仕組みづくり							
	開心術再開に伴う手術件数の増加による診療単価のアップ						
地域包括ケア病棟の適切な運用による診療単価のアップ							
	地域包括ケア病棟の適切な運用による診療単価のアップ						
新病院開院に伴う集患力の向上							
	新病院の魅力を発信する広報の充実 自動精算機導入などによる患者の利便性の向上 入院環境の充実による入院患者の快適性の向上						
(2) 経営基盤の強化							
経営戦略プラン実行体制の確立							
	自院と地域の医療機関の分析による経営戦略プラン実行体制の確立 DPCデータや病床機能報告データなどの公開データの分析能力の強化 DPC制度の適切な理解や運用を踏まえた標準的な医療の提供による診療単価のアップ						
財務基盤の強化・維持							
	適時適切な施設基準の見直しによる収益の確保 診療報酬制度やDPC制度を正しく理解した積極的な指導等の実施と漏れのない診療報酬請求の徹底 レセプトチェックの強化による査定率の低下 経営企画専従職員の配置による経営データ分析能力と企画提案力の向上 後発医薬品への移行促進による薬品費の削減 ベンチマーク分析を活用した診療材料の購入価格交渉による材料費の削減 未収金発生の防止と未収金回収の強化						
7 施設の老朽化対策							
(1) 令和4年度末までに新居浜病院建替事業を完了							
新診療棟での診療開始							
	令和3年8月の新診療棟診療開始に向けた適切な工事執行・病院機能移転						
新居浜病院建替事業の完了							
	令和4年度末までの現本院解体、外構・駐車場工事の完了						

○公営企業管理局

機能強化方針	年度別実施計画内容						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1 政策的医療の強化							
(1) 救急医療体制の強化							
救急医療体制の強化	ドクターヘリ等を活用した救急医療体制の維持						
(2) 周産期医療の強化							
周産期母子医療の強化	総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターを中心とした周産期医療の連携強化						
(3) 感染症医療の強化							
感染症医療の強化	必要な職種、人員の確保						
2 地域医療機関等との連携強化と役割分担							
(1) 地域医療機関等との連携強化							
医療情報システムの計画的な導入・更新	新居浜病院への統一した電子カルテベンダーの導入						
	南宇和病院への遠隔医療の導入						
	次期電子カルテシステムの検討・更新						
3 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化							
(1) 医師及び看護師等の確保							
医師派遣大学との連携強化等による医師確保対策	公営企業管理局、4県立病院長が連携し、地元大学等への医師派遣を要請 地域枠、自治医大卒業生の確保に向けた対応 県外の派遣大学に対する医師派遣要請 ドクターバンク等の活用による公募医師の確保						
4病院間の医師応援体制の確保	4病院間の医師応援体制の確保						
(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化							
医師の確保・育成や職場環境の改善	中央病院を中心とした4病院での若手医師の確保・育成 4病院間の診療応援体制の充実 女性医師の就労支援体制づくり						
臨床研修体制の充実	魅力的な研修プログラム作成による研修医の確保 都市部在住の県内出身医学生へのPRIによる医師確保						
新たな専門医制度に向けた対策の強化	基本領域に対する施設認定や受入準備等研修体制の整備及び運用 サブスペシャリティ領域に対応する施設認定や受入準備等研修体制の整備及び運用 資格取得促進による指導医の確保 4病院が連携した研修施設群の構築						
(2) 医師及び看護師等の人材育成機能の強化							
看護師の離職防止対策の強化	各種看護師研修の充実(新規採用看護職員研修、新卒リフレッシュ研修、中堅看護師研修等) 看護師の業務分担再整理による負担軽減等(2交代制の検討等)						

機能強化方策		年度別実施計画内容						
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	医療職、事務職等の専門性の向上							
		病院職員の専門性の向上 医療職の専門資格の取得促進 計画的な認定看護師、専門看護師等の資格取得の促進 専門性の高い中央病院職員との人事交流の促進 病院経営への参画意識とコスト意識の醸成						
4 働き方改革への対応								
(1) ワークライフバランスの推進								
	勤務時間の縮減							
		超過勤務時間の縮減や有給休暇等の取得率の向上 5日以上有給休暇取得の徹底						
(2) タスクシフト・タスクシェアの推進								
	業務の効率化							
		看護補助者の確保・活用 医師事務作業補助者の確保・活用 ICTの活用等による負担軽減						
	看護師2交代制の検討							
		看護師の意向調査等						
	各種会議の見直し・電子化							
		各種会議のスクラップアンドビルドと電子化						
	医師の負担軽減に向けた取組み							
		医師労働時間短縮対策の支援 勤務間インターバル、連続勤務制限等の導入検討						
	看護師の負担軽減							
		看護師2交代制の検討(再掲) 看護師の満足度向上 定員の適正化と必要な人員の確保						
5 医療の質の向上								
(1) 職員の資質向上								
	医療安全への取組みの強化							
		医療安全研修会の実施						
(2) 医療の質の向上に係る方策								
	病棟への薬剤師配置の拡充							
		薬剤師配置病棟の拡充						
6 経営の効率化								
(1) 集患力の強化								
	患者サービスの向上							
		効率的・効果的な患者アンケート調査の実施と対策等の検討						
(2) 経営基盤の強化								
	DPCデータ等の活用							
		ベンチマーク分析による効率的な経営の推進 後発医薬品の使用拡大						
	適切な診療報酬の確保							
		診療報酬改定への適切な対応						
	未収金対策の強化							
		小額訴訟による未収金の回収等						

機能強化方策		年度別実施計画内容						
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	施設の計画的な管理							→
		将来を見据えた施設維持管理計画の策定						
	医療機器等の計画的な整備							→
		高額医療機器の計画的な整備 県立病院間の機器統一化や保守一元化、診療材料等の共同調達に係るコスト削減						
	地域医療構想との連携							→
		各圏域内の医療需要等を踏まえた診療機能や病床数等の検討 地域医療・介護総合確保基金の活用						
7 施設の老朽化対策								
(1) 令和4年度末までに新居浜病院建替事業を完了								
	新診療棟での診療開始		→					
		令和3年8月の新診療棟診療開始に向けた適切な工事執行・病院機能移転						
	新居浜病院建替事業の完了		→					
		令和4年度末までの現本院解体、外構・駐車場工事の完了						
(2) 病院の今後のあり方の検討								
	病院の今後のあり方の検討			→				
		将来の圏域の医療ニーズを精査 診療機能を維持するために妥当な施設整備の方法の具体的検討 老朽化対策基本計画の策定						
								→
(3) 移転新築の早期事業化								
	移転新築の早期事業化							→
		老朽化対策基本計画に基づいた調査、設計、施工						

第5 経営指標に係る数値目標

県立病院は、新型コロナの発生当初から3年以上にわたり新型コロナ対応の中心的役割を担い、5類に移行した令和5年5月までに約1万5千人の入院患者を受け入れるなど、県立病院の使命として、通常診療に制約も受けながら新型コロナ対応に重点を置いた病院運営を行ってきた。このことによる経営への影響は大きく、県立病院の患者数は令和2年度以降大幅に減少し、今年度もコロナ禍前の8割台に留まっている状況にある。医療の高度化で診療単価は向上しているが、患者減の影響により医業収益が伸びない一方、物価高騰や人件費の上昇で医業費用は大幅に増加している。加えて新型コロナの5類移行に伴い国の財政支援が前年度から大幅に減少する見込みであり、県立病院の5年度決算は全4病院で赤字となり、総額は30億円を超える見通しとなった。

県立病院が引き続き地域医療の最後の砦としての役割を果たしていくためには、健全経営の早期確保が重要となることから、今後3年間で集中的に収支改善に向けた取組みを進める。

具体的な取組みとして看護師確保対策を最優先課題とし、採用職員の確保、離職防止対策の強化などを進めることで患者受入れ態勢を確保し、コロナ禍を境に大幅に減少している入院患者数を回復させることで収益の改善を進める。さらに、経営規模の大きい中央病院においては、院長を本部長とする経営改革推進本部を設置し、ワーキングチームで具体の経営課題に対応し組織的に改革を推進するとともに、他の県立病院においても院長を中心に経営改善に取り組む。こうした取組みに加え、圏域の病院・診療所との連携強化による患者確保や診療材料費等の調達コストの効率化による医業費用の抑制などの取組みを継続して進めることで、令和8年度に病院事業全体での経常収支の黒字化を目指す。

1 経営指標

(1) 全体

(単位：%)

区分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
経常収支比率	104.0	104.9	93.7	94.2	97.2	100.0	100.0
修正医業収支比率	80.4	81.7	81.1	83.8	87.0	89.9	90.0
一日当たり入院患者数	809	847	856	891	933	1,004	1,008

※修正医業収支比率は税込みで算定しているため決算統計で公表される数値とは異なる

(2) 中央病院

(単位：%)

区分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
経常収支比率	106.4	108.0	96.7	96.6	98.5	100.8	100.8
修正医業収支比率	85.4	86.5	85.1	87.3	89.4	91.8	91.8
一日当たり入院患者数	488	516	497	520	530	555	557

(3) 今治病院

(単位：%)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
経常収支比率	96.6	94.7	88.7	90.7	95.2	100.0	100.1
修正医業収支比率	79.6	78.6	80.4	84.7	89.6	94.6	94.8
一日当たり入院患者数	146	140	154	155	165	183	185

(4) 南宇和病院

(単位：%)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
経常収支比率	102.0	100.9	78.8	81.5	86.8	90.8	91.3
修正医業収支比率	66.9	68.6	66.9	72.9	77.0	81.5	82.0
一日当たり入院患者数	71	73	77	85	90	104	104

(5) 新居浜病院

(単位：%)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
経常収支比率	100.5	102.5	91.1	91.8	97.2	100.1	100.1
修正医業収支比率	63.2	68.9	69.8	71.8	77.5	80.6	80.9
一日当たり入院患者数	104	118	128	131	148	162	162

2 収支改善計画

(1) 全体

(単位：百万円)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
医業収益 ①	36,281	39,238	39,745	43,172	46,465	49,524	50,064
医業外収益 ②	11,564	12,140	7,140	6,226	6,364	6,481	6,468
(うち新型コロナ対応関係補助金)	(5,530)	(5,530)	(1,122)	(-)	(-)	(-)	(-)
経常収益(①+②=③)	47,845	51,378	46,885	49,398	52,829	56,005	56,532
医業費用 ④	45,153	48,026	49,000	51,504	53,436	55,099	55,612
医業外費用 ⑤	870	938	1,020	930	917	906	892
経常費用(④+⑤=⑥)	46,023	48,964	50,020	52,434	54,353	56,005	56,504
経常収支(③-⑥=⑦)	1,822	2,414	△3,135	△3,036	△1,524	0	28
特別損益 ⑧	13	△295	0	0	0	0	0
純損益(⑦+⑧)	1,835	2,119	△3,135	△3,036	△1,524	0	28

(2) 中央病院

(単位：百万円)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
医業収益 ①	25,603	27,134	27,330	29,802	31,705	33,549	33,891
医業外収益 ②	6,933	7,425	4,390	3,786	3,834	3,902	3,911
(うち新型コロナ対応関係補助金)	(3,414)	(3,826)	(790)	(-)	(-)	(-)	(-)
経常収益(①+②=③)	32,536	34,559	31,720	33,588	35,539	37,451	37,802
医業費用 ④	29,979	31,363	32,102	34,150	35,453	36,547	36,907
医業外費用 ⑤	613	643	686	635	621	607	591
経常費用(④+⑤=⑥)	30,592	32,006	32,788	34,785	36,074	37,154	37,498
経常収支(③-⑥=⑦)	1,944	2,553	△1,068	△1,197	△535	297	304
特別損益 ⑧	0	7	0	0	0	0	0
純損益(⑦+⑧)	1,944	2,560	△1,068	△1,197	△535	297	304

(3) 今治病院

(単位：百万円)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
医業収益 ①	4,769	5,113	5,320	5,746	6,207	6,723	6,836
医業外収益 ②	1,100	1,141	641	493	479	480	479
(うち新型コロナ対応関係補助金)	(404)	(479)	(133)	(-)	(-)	(-)	(-)
経常収益(①+②=③)	5,869	6,254	5,961	6,239	6,686	7,203	7,315
医業費用 ④	5,990	6,506	6,613	6,783	6,929	7,104	7,208
医業外費用 ⑤	87	96	108	94	95	98	100
経常費用(④+⑤=⑥)	6,077	6,602	6,721	6,877	7,024	7,202	7,308
経常収支(③-⑥=⑦)	△208	△348	△760	△638	△338	1	7
特別損益 ⑧	0	0	0	0	0	0	0
純損益(⑦+⑧)	△208	△348	△760	△638	△338	1	7

(4) 南宇和病院

(単位：百万円)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
医業収益 ①	1,866	2,005	1,968	2,212	2,444	2,683	2,715
医業外収益 ②	1,034	995	398	301	352	354	354
(うち新型コロナ対応関係補助金)	(790)	(736)	(114)	(-)	(-)	(-)	(-)
経常収益(①+②=③)	2,900	3,000	2,366	2,513	2,796	3,037	3,069
医業費用 ④	2,788	2,924	2,943	3,036	3,174	3,293	3,312
医業外費用 ⑤	56	48	60	48	48	50	50
経常費用(④+⑤=⑥)	2,844	2,972	3,003	3,084	3,222	3,343	3,362
経常収支(③-⑥=⑦)	56	28	△637	△571	△426	△306	△293
特別損益 ⑧	0	0	0	0	0	0	0
純損益(⑦+⑧)	56	28	△637	△571	△426	△306	△293

(5) 新居浜病院

(単位：百万円)

区 分	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (見込)	6年度	7年度	8年度	9年度
医業収益 ①	4,043	4,986	5,127	5,411	6,109	6,569	6,623
医業外収益 ②	2,497	2,579	1,711	1,647	1,700	1,745	1,723
(うち新型コロナ対応関係補助金)	(922)	(489)	(85)	(-)	(-)	(-)	(-)
経常収益(①+②=③)	6,540	7,565	6,838	7,058	7,809	8,314	8,346
医業費用 ④	6,396	7,233	7,342	7,535	7,881	8,154	8,185
医業外費用 ⑤	114	151	166	153	153	152	151
経常費用(④+⑤=⑥)	6,510	7,384	7,508	7,688	8,034	8,306	8,336
経常収支(③-⑥=⑦)	30	181	△670	△630	△225	8	10
特別損益 ⑧	13	△302	0	0	0	0	0
純損益(⑦+⑧)	43	△121	△670	△630	△225	8	10